

## 米韓の対北朝鮮軍事演習に英国が初参加

(スプートニク 2016年09月29日 14:46)

© AFP 2016/ Jung Yeon-Je <https://goo.gl/qKP27R>

米韓の朝鮮民主主義人民共和国に対抗した演習に英国が初めて参加する。29日、聯合ニュースが伝えた。

米韓英の合同演習「インヴィンシブル・シールド」は11月4日から10日、ソウルの南70キロに位置する平沢市（ピョンテク）のオサン空軍基地で実施される。韓国空軍のスポークスマンによれば、「こうした演習を通して3国は各国の軍備の合同性を調べ、朝鮮半島有事の際の相互関係を強化することができる。」

聯合ニュースによれば英国はこの演習に自国製の戦闘機「ユーロファイター・タイフーン」、超長距離軍用機「ルータン・ボイジャー」、軍用輸送機C-17を派遣する。韓国と米国は26日、日本海（東海）で北朝鮮の地上の目標物を攻撃する合同訓練を行った。

<http://sptnkne.ws/crN2>

## 新たな核の大惨事が世界を待ち受けている、英学者断言

(スプートニク 2016年09月29日 16:54)

© Sputnik/ Alexei Furman <https://goo.gl/hUJm4N>

新たな「チェルノブイリ」や「福島」がまもなく我われを待っている。つまり、巨大な原発事故が近いうちに起こる可能性がある。そのような結論を持つ、英サセックス大学の専門家班による論文が『Risk Analysis』誌に掲載された。結論は200以上の原子力事故の分析を基に出された。研究者たちは、原発での事故予防の取り組みにもかかわらず、大規模原子力事故は100年に2回以上、1979年に起きたスリーマイル島原子力発電所事故のような中規模事故は平均で10年から20年に一度起きると断言している。

研究対象に報告書、科学論文、公式文書だけでなく、プレスリリースや新聞入っていたことは興味深い。事故により起こりえた被害を評価し、国際原子力機関の原発事故予測のための標準的な方法を取りやめ、その代わりに自らの方法を選んだ。彼らが行き着いた結論の1つは「原子炉建設の実際使用されている技術を改善することが不可欠」というものだ。

関連のニュースはこちら <https://goo.gl/xY9vg3>

<http://sptnkne.ws/crRJ>

## ペスコフ報道官：マレーシア航空ボーイング機の件に関する調査データは最終的な真実と考える ならない

(スプートニク 2016年09月29日 17:18)

© Sputnik/ Host photo agency/Alexei Danichev <https://goo.gl/xj3qfj>

ペスコフ・ロシア大統領報道官は、国際的な調査グループによるマレーシア航空のボーイング機がドンバス上空で撃墜された件に関する調査データは中間的なものであり、したがって、調査は継続すべきであると述べた。メディアが報じた。

「受け入れることも否定することもない。これらは中間的な結論である。我々は調査を継続する必要がある。いかなる証拠も見てはいない。我々は彼らが言うことを最終的な真実であると考えすることはできない。論争の用意はある。これらの声明の中にあなたはいかなる証拠も見てはいない」と報道官。

先に航空機墜落の状況の解明に当たっていたオランダが主導する国際的な調査グループは、航空機はロシアの領土から届いた「ブーク」によって撃墜されたと断定した文書を提出した。

<http://sptnkne.ws/crRk>

## ケーブカナベラルは水に沈む。海が米国の宇宙基地を脅かす

(スプートニク 2016年09月29日 23:06)

© 写真: Public domain <https://goo.gl/JISvJJ>

NASAの宇宙基地、特にフロリダ州の東海岸に位置しているケネディ宇宙センターに危機が迫っている。ギズモドが報じた。地球温暖化やそれに関連する自然現象により多くの重要なNASA施設が二十年ほど後に水没してしまう危険がある。

施設はすべてロケット打ち上げが失敗した場合に備え安全上の理由のため水辺に建設された。当時から専門家が海洋の水位上昇を警告していた。しかし、現在、上昇速度は大幅に増加している。ケネディセンターのある一帯は2050年に20cm、2080年には38cm上昇すると見られる。

ケネディ宇宙センター <https://goo.gl/nbN7pD>

ケネディセンターを保護するため、2014年以来、NASAは海岸沿いに砂の堤防を構築し始めた。ギズモドによれば、この決定は今のところ経済的に正当化されるが、将来的に沿岸地域の宇宙基地を手放すことになる。危険ゾーンで働いてくれる人が見つけにくくなることもその一端という。

「米国の宇宙基地の未来が脅かされている。一番の危険はNASAのよく訴える資金不足ではなく、

気候変動。人々が有害ガスを排出し続ける場合、ケネディセンターは宇宙に誰を送ることもできなくなる。水没してしまうのだ」。なお、宇宙の関連ニュースはこちら。<https://goo.gl/EOD7wD>

<http://sptnkne.ws/crSG>

## ロシア外務省、シリアに関する米国の声明をテロリスト支持と規定

(スプートニク 2016年09月29日 20:07)

© AFP 2016/ Alexander Nemenov <https://goo.gl/qG9x0I>

モスクワではシリア問題解決に関するワシントンの最近の声明がテロリズムを支持するものとして性格づけられている。木曜、ロシア外務省のセルゲイ・リャプコフ次官が述べた。「我々は米国現政権がテロリストを事実上支持したのものとして以外にこれを性格づけられない」と次官が記者らを前に米国務省声明にコメントした。

「テロリストらの武器をロシアに対して使用するようにとの米国の明らかな呼びかけは中東情勢、この場合はシリアに対するアプローチについて、米国の現政権がどれほどの政治的低劣さに陥っているかを示している。」

またロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官は次のようなコメントを出した。

「米国が自ら負った反政府穏健派とアル＝ヌスラ戦線の分離に関する義務の順守について進展が見られないため、シリアに関してシリア支援国際グループや安保理決議の枠内で達成された複合措置全体がブロックされている。」

ワシントンが義務を負ったのはもう半年前であり、ロシアにはワシントンから2週間で済むと通知があったのに、何もなされることはなかった、と強調した。先に米国務省のジョン・カービー報道官は、シリアにおけるモスクワの行動の結果として、武装勢力がロシアの都市を攻撃するようになり、シリアにおける軍人の死者数が増大する可能性がある、と述べた。「ロシアは死体用の袋で軍人を帰還させ続け、リソースを、もしかしたら再び飛行機さえも、失い続ける。」

<http://sptnkne.ws/crT9>

## 危険な兆候、米議会がオバマ大統領の拒否権を無視

(スプートニク 2016年09月29日 23:17)

© Flickr/ Daniel Mennerich 1/2 <https://goo.gl/fycclY>

米議会はオバマ政権下で初めて大統領の拒否権を覆した。拒否権が覆されて成立したのは2001年9月11日に起きた同時多発テロ事件で犠牲者の遺族らが外国の政府および市民に対して訴訟を起こ

すことを許す法案。法案はこのテロリストらへの支持を表明したとして再三にわたって非難を受けているサウジアラビアを主に対象としたもの。

9月23日、米下院は全会一致でこの法案を採択したが、翌24日、オバマ大統領は同盟国との関係悪化を望まないとしてこれに拒否権を発動した。

ロイター通信の報道では議会の投票では348人の議員が大統領拒否権を覆すことを支持し、反対を唱えたのはわずか76議員だった。

大統領の拒否権が覆され、法案が成立した背景には下院の大多数が共和党員で民主党出身の大統領への批判を定期的に繰り返している事情があるのみならず、今回は同じ民主党の議員らも大統領拒否権を覆す側に回ったことがある。

オバマ大統領は今回の拒否権覆しを「危険な兆候」であり、回りまわって米国が非難されかねないと危惧を表し、議会側からの外交行動は「予期していなかった」と語っている。

先に伝えられたところによると、オバマ米大統領は大統領になってから罵詈雑言が増えたと告白した。

<http://sptnkne.ws/cssj>

## 北朝鮮の一人当たり国民総生産、初めて1,000ドル超え—韓国研究所

(スプートニク 2016年09月29日 23:30)

© Sputnik/ Иль я П и т а л е в <https://goo.gl/whRC5S>

韓国の経済研究所「ヒョンデ」が木曜発表したデータによると、北朝鮮の一人当たり国民総生産(GNP)が初めて1,000ドルを超えた。

聯合通信によれば、北朝鮮の2015年の一人当たりGNPは1,013ドル。2014年は930ドルだった。これは韓国の70年代半ばと同水準という。

「南北格差がこれほどとなると、統一の重みは相当大きなものとなる」と研究所のキム・チョング氏。北朝鮮では1987年以降すべての統計データが秘密化され、一般公開されていない。

先に伝えられたところによりますと、北朝鮮で大掛かりな航空ショーが開幕した。

<http://sptnkne.ws/cssn>

## オバマ大統領、娘2人の入隊希望に承諾

(スプートニク 2016年09月29日 20:13)

© AFP 2016/ Mandel Ngan 1/2 <https://goo.gl/EbHTPL>

オバマ米大統領は米軍への入隊を希望する2人の娘のマリアさんとナターシャ（サーシャ）さんの意思を妨げないことを決めた。オバマ大統領はヴァージニア州フォートリー陸軍基地での軍人とその親族との会談でこうした声明を表した。会談の様子はCNNテレビが生中継で伝えた。

「私なら『やりなさい』というだろう。彼女たちがどこに赴任するかを考えた場合、神経を尖らせないといえは嘘になる。あなた方のお子さんはあなた方の子どもだ。親はできることなら子どもたちには生涯パジャマを着せたまま隠しておきたいと思ってしまうものだ。」ロイター通信がオバマ大統領の声明を引用して伝えた。

オバマ氏はまた、より多くの米国民が入隊するよう望むと語り、これは「高レベルの収入を得ている人たち」を示してのことだと指摘している。

オバマ夫妻は1992年に結婚。2人の中にはマリアさん（18）とナターシャさん（15）の2人の娘がいる。マリアさんは今年ハイスクールを卒業。ハーバード大学への入学が決まっているが、その前に1年、自由な期間である「ギャップイヤー」を選択している。

<http://sptnkne.ws/crWD>

## 日本、ロシアの将来の石油業者を研修

(スプートニク 2016年09月29日 22:22)

© Sputnik/ Evgeny Biyatov <https://goo.gl/DJCFUM>

日本のサハリン石油ガス開発（SODECO）がサハリンから将来の石油業者である石油ガス分野の生徒を企業研修に受け入れ、米国のFluor Danielはサハリン島の設備付き学業施設を支援する。29日、サハリン州のオレグ・コジェミャコ知事とこれら企業代表が合意した。

日本のSODECOとサハリンは、将来の石油業者の日本企業研修留学で合意した。日本の企業に石油ガス分野のサハリン最良の生徒を受け入れる提案を申し出たのは同企業の代表取締役社長、藤田昌央氏だ。

技術石油ガス大学の生徒の第1回研修生はすでに来夏にも受け入れられる用意がある。予定されている研修期間は20日で、研修生はその間日本の諸石油会社でトレーニングを受け、理論的知識を得、自らの知識を実践に適用する機会が与えられる。

先に、ロシア国営企業「ガズプロム」のアレクサンドル・メドヴェージェフ副社長の話として、ガズプロムが「対日供給を想定し、極東サハリンの液化天然ガス（LNG）生産基地を増設する」と報じられた。

<http://sptnkne.ws/csaN>

## 日本人政治活動家「クリミアには日本が学ばねばならぬところがある」

（スポーツニク 2016年09月30日 05:59 エフゲーニヤ・モイセーエワ、徳山あすか）

○ 写真：一水会 <https://goo.gl/BvoExn>

日本の愛国主義的政治団体「一水会」の木村三浩代表がスポーツニクの独占インタビューに答えてくださった。木村氏はクリミアを何度も訪れており、先日当地で実施の下院選挙の投票にもオブザーバーとして立ち会っている。投票区を視察した木村氏は記者団に対し、クリミアの市民は日本人よりも強い本当のサムライ魂を持っていると評価した。この場合のサムライ魂とは何か、その他、現在の世界が抱える急務について、中でも露日関係について木村氏はスポーツニクの向けるマイクに次のように語っている。

**スポーツニク：**先日あなたは、クリミアでの下院選挙の投票に立ち会われました。あなたが、クリミアを訪れたのは今回が初めてではありません。なぜ、あなたの注意は、他ならぬクリミアにひかれるのでしょうか？あなたはクリミアのロシア連邦への編入、そして現在のこの地域の状況についてどう思われますか？クリミアに対する西側の立場、クリミア及びロシアに対する西側の制裁措置について、どう評価されますか？

**木村氏：**クリミア住民が自分たちの意思でロシアに復帰したということ、その意思の表れとして住民投票をしたという実情が、日本の報道ではあまり伝わっていません。「ロシアがクリミアを力によって最終的に編入した」と伝えられているので、私は事実を確認したくて、最初にクリミアを訪問しました。日本のメディアには西側諸国の考え方や主張を反映してしまう報道が多く、実情を反映していません。日本メディアの報道にはチェック機能がなく、西側にコントロールされてしまいかねない。そして一般の人は事実を知らないままになる。私はそのことを残念に思っています。

○ 写真：スタクの下院選挙の投票所 <https://goo.gl/V2Gm2K>

クリミアで下院選挙の投票に立ち会いました。私がお会いしたクリミア・タタールの方々も、ロシアに帰属して良かったという気持ちを持っていました。クリミアがウクライナだったときは「ウクライナ化」が強くて、クリミア・タタールの人たちは自分たちの言葉を失う危機に瀕していました。今ではロシア語、ウクライナ語、クリミア・タタール語でテレビ放送がなされています。西側諸国は「ロシアがクリミアを併合してからタタールの人たちは迫害されている」と言っています。ロシア人とタタール人は一緒に発展しようとしているのに、西側はそれを疑っています。ロシア側の方が、クリミア・タタールの人たちと共存することに真面目に取り組んでいる、それを評価しな

ければなりません。これからクリミアはどんどん発展していけると思っています。

○ 写真：タタール人の方々と意見交換後の記念撮影 <https://goo.gl/JAVNw0>

**スポーツニク**：またあなたは今回、アブハジアと南オセチアも訪れました。アブハジアでは、選挙でオブザーバーを務め、両国の代表と会いました。この地域について、あなたはどのように思われますか、将来についてはどう見ておられますか？

**木村氏**：2008年8月8日、ジョージア（グルジア）が南オセチアを攻撃したとき、日本メディアは南オセチアを助けたロシアの行動を非難しました。私はそれをおかしいと思い、当時の自民党幹事長だった加藤浩一さんに話をしました。彼もそう思う、と話していました。自民党の中にも、そのような方はいます。そのとき日本共産党はロシアの行動を批判していました。ポピュリズムに迎合しているのでしょう。

○ 写真：アブハジア ハジンバ大統領と <https://goo.gl/28e52T>

アブハジアの大統領選挙では、アブハジアは未承認国家なので、「ちゃんと選挙をやっているのか？」という疑いの色眼鏡で見られています。大統領選挙の際、アブハジアにはイタリアなどヨーロッパからのオブザーバーが来ていました。私も現地に滞在し投票所も行きましたが、透明で、不正はありませんでした。私は、人々の自己決定、自分たちの未来を考えた上での投票行動を尊重しています。私ができることは現地に行って状況を見て、選挙がきちんとなされていること、この国は独立した国であり、国家として承認しなければならない、ということを訴えることです。

クリミア、アブハジア、南オセチアの人々の、自分たちの住んでいる場所の発展を自分たちで考えていこうという自決の権利を私は尊重しています。むしろ日本はこれらの人々の、自決の権利を得るための戦いに学ばなければいけないのでは、とすら思っています。

○ 写真：一水アブハジアの英雄記念碑で記念撮影 <https://goo.gl/XY0oJL>

**スポーツニク**：現在ロシアと日本の関係には、温暖化が見られます。首脳同士の会談が定期的に行われ、経済協力も活発に発展しています。安倍首相は、ご自分の任期中の平和条約締結を目標にしていると言われていています。あなたは、この目標は実現されるとお考えですか？ 現在、いくつかのバリエーションが検討されています。先日、読売新聞には、日本政府は2島のみを譲渡案を検討中だとの情報も出ました。日本の世論は、そうしたロシアとの妥協に向け、どのくらい用意ができていのでしょうか？ またそれは、両国に何をもたらすのでしょうか？ロシアと日本の理想的な関係について、あなたはどのように見ていらっしゃいますか？ あなたの目からご覧になって、クリルの運命はどうなるべきでしょうか？

**木村氏**：安部首相は所信表明演説で、ロシアとの関係を非常に大切にしなければ、と述べました。私は、この所信表明は良かったと思います。12月15日にプーチン大統領が来日しますので、私たちがが出している新聞「レコンキスタ」の10月号では、「プーチン大統領来日歓迎・今こそ日露平和条

約を締結し、領土問題の解決と日露の関係改善を実現しよう」という画期的なテーマを特集します。

また、鈴木宗男さんとお話し、プーチン大統領来日歓迎の集会・ミーティングを日本でやることも決めました。大統領歓迎の他に、日露平和条約締結促進という意図もあります。これは大統領の来日前に、東京や北海道はもちろん、日本各地で行うことができればと思っています。日露関係の改善に賛成している人がこれだけいるのだ、ということを見せたいのです。ロシアとの関係改善がなされ平和条約が締結されれば、日ソ共同宣言に基づき、色丹島・歯舞群島の引渡しをしてほしいということも要求するつもりです。

また安部首相は、所信表明演説で「日露間に平和条約がないことは異常事態である」と述べました。私たちもその認識を共有していますし、平和条約締結のために安部首相が動いていることを支持しています。しかし、これを阻害する三つの勢力があります。一つには、アメリカ的な考え方の保守グループです。このグループは、ロシアに経済協力をしても、日本に何の成果も及ぼさないと主張し、色丹島・歯舞群島も返ってこないと見ています。ロシアへの警戒感を煽っているとも言いましょうか。こういう人は日本の右翼勢力にもいます。二つ目は、リベラル派です。こういう人は「クリミアは力によって奪われた。G7が経済制裁をしている中で、日本が抜け駆けするのはおかしい、国際協調を逸脱している。また、NATOに対抗するために核使用の可能性もほのめかしているプーチン大統領に、どうして付き合わなければいけないのか」などと言って批判しています。三つ目は、日本共産党です。日本共産党は、千島列島全島を日本のものだと要求しています。それがもし色丹島と歯舞群島だけで終わってしまったら、それは安部政権の妥協だというわけです。しかしこれはもちろん現実離れした話です。

日露平和条約は絶対にこの段階で締結すべきです。平和条約の中身は、単に領土問題について取り決めるだけではなく、百年の計のスパンで考え、日露両国が平和のリーダーシップをとっていけるようなものになることを望んでいます。今、露中関係は良いので、もしかすると日露の接近に対して中国が「やきもち」をやくかもしれません、日本は「中国とは約40年前に締結した。日本としては、このタイミングでの日露平和条約の締結は遅いくらいだ」と、きっちり話すべきです。

◦ 写真：クリミアの城をバックに <https://goo.gl/dg8JNz>

**スプートニク：**あなたの団体は、日本は米国から自立した政策をとるべきだと主張し、米軍部隊の日本からの撤退を求めています。しかし今日、米国との防衛協力は、地域全体の地政学的状況において、かなり重要な役割を果たしています。米軍基地が撤去された後、日本の安全は、どのように保証されるのでしょうか？ 東アジアのパワーバランスは変化するのでしょうか？あなたのお考えでは、どうすれば、アジア太平洋地域を平和なものとすることができるのでしょうか？ その際、すべての国の安全が保障され、この地域のあらゆる利益は守られなくてはなりません。

**木村氏：**私は、米軍は日本から出ていってもらいたいと、一貫して主張しています。東アジアのパワーバランスの変化を考えれば、これは今すぐにできることではありませんが。しかし基本は、自立をしていくということです。自分の国の地政学的な安全保障を、自分の国の決定で考えられるようにしなければなりません。外交はあくまでも「付き合い」です。外交で、緊張関係を信頼関係

に置き換えることもできるわけです。外交は共通の利害がベースになっています。つまり両者互いにメリットのある枠組みを作ることが必要になってきます。ソチの日露首脳会談で提案された、日本の、ロシアへの8項目の経済協力については、10月15日までにロシア側も担当大臣を設ける予定です。更に具体的なプランが作られるでしょうから、これは良いことだと思います。

日露平和条約が締結できれば、その先に日朝国交正常化も可能だと思います。これはやる気になればできますし、やらなくてはいけないことです。韓国の問題はありますが、お互いに国連に加盟している国ですし、韓国と北朝鮮が、朝鮮半島の人々が国家として互いを尊重しあえば、平和共存できると思います。

○ 写真：南オセチアの山の中で兵士と <https://goo.gl/Y8zrKA>

**スポーツニク**：間もなく米国では、大統領選挙が行われます。あなたは、その経過をどうご覧になっておられ、結果はとなると予想されますか？ あなたご自身は、どの候補を支持されていますか、またそれはなぜですか？

**木村氏**：私は、トランプ氏が主張している「日本からの米軍撤退」については、こちらもお金を払う必要はないし、出て行ってもらえばいいのではないかと主張しています。アメリカ軍には、日本から撤退する自助努力をしてもらえば良いのではないのでしょうか。ブッシュ氏とゴア氏が争ったときは不正選挙がありましたし、選挙は番狂わせがありますので、大統領選の行方はわかりません。

日米安保ということ言えば、私は日米地位協定はすぐやめてもらいたいと主張しています。日本人として屈辱的で、人間の価値にも関わる問題です。愛国者でなくてもこれはおかしいと思うはずで、日米地位協定の廃止は、私にとって必ずやりとげたいテーマです。

○ 写真：ピチャゴルスクのサナトリウムで <https://goo.gl/lmeJpS>

**スポーツニク**：2010年、あなたの団体は、東京で欧州の右派政党のためのフォーラムを組織されました。今日、数々の問題を抱え、EUに対する懐疑的な気分が高まっている欧州において、あなたは、これらの政党の役割を、どうご覧になっていますか？

**木村氏**：今日、欧州にとって主要な問題の一つは、移民危機です。日本の移民政策は、その慎重さで知られています。あなたは、日本の経験が欧州にとって有益なものになりうると、お考えですか？ あなたはそれを、欧州の同僚達と分かち合いましたか？

マリーヌ・ル・ペンさんは、フランスは主権国家としての立場に戻るべきだと話していました。先日、イギリスの離脱の選挙もありましたけれど、無理やり統合するというのではなく、主権国家、その中における民主体制の確立をする、行き過ぎたグローバル主義に反対する、そのような傾向でした。意見交換では、それぞれの国の国家主権を守ろうというテーマの議論をしました。マリーヌ・ル・ペンさんのグループからのリクエストで、ウクライナの議員も参加したいという意思表示がありました。ビザがおりず、ウクライナの議員は日本に来ませんでした。マリーヌ・ル・ペンさん

は移民に全面反対しているのではありません。日本のようにきちんと管理するべきだという見解を示していました。

◎ 写真：セバストポリの英雄記念碑で献花 <https://goo.gl/i0qCjZ>

**スプートニク**：あなたのお考えでは、いま日本が抱えている主要な内政問題はどんなものでしょうか？ それらを解決するためには、どのような方法があるとお考えですか？ 経済の停滞を克服するために、どんな措置を講ずるべきでしょうか？ 人口の高齢化問題や、それに関連した社会保険の問題を、どう解決すべきだとお考えですか？

**木村氏**：内政には問題が山積みです。少子高齢化、社会保障政策における高齢者対策は喫緊の課題です。また教育の問題があります。日本人が日本人であるという誇りをもてるような教育が必要です。今は核家族社会・都市型社会で、社会全体がバラバラになっていると感じます。また全てにおいて東京集中をやめ、地方を活性化させなくてはいけないと思います。安全保障の観点からも、東京一極集中はよくありません。

**スプートニク**：もしあなたが日本の首相になられたら、真っ先に何をされますか？ あなたのお考えでは、現在最も緊急に求められている行動は何でしょうか？

**木村氏**：一番にやりたいことは、米軍の、日本からの撤退です。米軍には出ていってもらわなければなりません。米軍とケンカしようというのではありません。自主権を、明確にし、日本の自主独立を勝ち取るべきだということなのです。ロシアとの関係で言えば、日露平和条約を既に安部首相が結んだ、という前提でお話すれば、もっと良好な関係を築きたいと思います。しかしどこかに偏るのではなく、対外的には、中立的に平和を維持したいと思います。また、国連改革にも取り組む必要性があります。

◎ 写真：シンシエロポリで「I LOVE JAPAN」のTシャツを着た人と <https://goo.gl/0mzADW>

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部との立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/csbH>

## ロシアの介入がなければシリアという国はもはや存在していない

(スプートニク 2016年09月30日 13:22 タチヤナ・フロニ)

◎ REUTERS/ Bassam Khabieh <https://goo.gl/Gmdys0>

シリア内戦が5年以上続いている。国連の推計では、既に40万人以上が死亡。2300万という全人口の半数が住む家を追われた。そんなシリア紛争に、グローバルなテロの脅威を背景に、ロシアが参戦したのは、ちょうど1年前のこと。

シリアのアサド大統領はプーチン大統領に対し国内におけるテロとの戦いへの支援を要請。このときロシアの支援はロシア航空宇宙軍によるシリア軍の空中支援に限定された。シリアにおけるロシア地上軍の使用は排除された。米国の不満や危惧をよそに、ロシアの攻撃は正確で、ダーイシュ（IS）に大きな損害を出した。

この1年のシリアにおけるロシアの軍事行動の成果はいかがなものか。紛争に変化を与えたのか。「グローバル政治の中のロシア」誌編集長フョードル・ルキヤノフ氏がスプートニクに語った。

「ロシアの最大の功績はシリアという国の完全崩壊を回避したことだ。ロシアの介入がなければアサドも、シリアという国も、もはや存在していないだろう。2015年の夏秋にはそのような脅威は非常に高まっていた。しかし、この間に政治解決や情勢安定化が進んだとも決して言えない。軍事的な方法で勝利を取めることは誰にもできない。シリア正規軍はロシアの強力な支援を受けてさえ軍事的課題を達成することができない。反体制派にも勝利は不可能だ。なのに政治的なプロセスが全く進まない。対立する勢力が、力では何も手に入らないということを十分に理解しないためだ。それに、交渉当事者の確定が非常に難しい。特にアサド反対派。これが政治解決という課題を非常に遠ざけている」

シリア情勢は解決しないばかりか、混迷を深めている。ダーイシュに対する共通の勝利のために必要な形態で行動を調整することを望まない米露の相互的また恒常的な批判も火に油を注いでいる。結果として、嘆かわしいことに、停戦も破綻してしまった。それについては米国が国連で、何らの証拠もなしに、声を大にして性急にもロシアを非難した。フョードル・ルキヤノフ氏は語る。

「米露の不信はほぼ100%だ。シリア紛争における全体的な対立の一環として情報戦争も行われている。影響力の点からいえば、ロシアはシリアにおける最重要のプレイヤーだ。これが米国を不満にさせ、苛立たせている。シリア紛争の各参加者がそれぞれ課題をかかえている。そのすべてが公表されることはないが、それはこのような大きな紛争では不可避のことだ。米国自身、自分がシリアで何を成し遂げたいのか分からなくなっており、それがシリアにおいて自信を失うということにつながっている。ロシアは米国には手のつけようもない重大なファクターになっている。」

米国の苛立たしいレトリックを背景に、シリアの停戦がそれでも成立することを期待できるか。フョードル・ルキヤノフ氏は次のように語る。

「おそらく現時点では停戦の希望はない。停戦を成功させる一番の障害は、米国がパートナーとして一枚岩ではないことだ。米国の中にも本当に合意を望んでいる人たちはいる。オバマ大統領やケリー国務長官などはやはりそうした立場だ。しかしペンタゴンは、明らかに違う立場だ。オバマは退きつつある大統領であり、できることはどんどん少なくなっている。ペンタゴンはロシアを全く信用していない。」

しかも、シリア紛争には、ますます多くのファクターが絡んできている。シリア紛争はこれから地域に拡大していく傾向を持っているのか？

「奇妙なことに、地域への拡散のリスクは、紛争勃発当初より下がっている。これまでシリア紛争における主要なプレイヤーには、露米のほかに、トルコ、サウジアラビア、カタール、イランがいた。今は状況が根本的に変わった。紛争の本質が変わったのだ。地域諸国は脇へ退き、ロシア内部のプレイヤーにすべてが集中してきた。今は彼らが大きく情勢を左右する。」

いずれにせよ今年どうなるか予断を許さない。シリアの完全崩壊という最大の目標はロシアは達成した。しかし、シリア紛争における米露の間接的競合は、明らかに今後も激化していく、とフォードル・ルキヤノフ氏。

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/csbW>

### シリアでの米国とロシアとの協力停止日が明らかにーマスコミ

(スプートニク 2016年09月30日 02:18)

◎ Sputnik/ Michael Alaeddin <https://goo.gl/7H2lvm>

米国はシリアに関するロシアとの外交的協力を停止する構えだ。ロイターが匿名の高官筋の情報をもとに報じた。決定は9月29日木曜日に取りられる可能性があるという。

昨日28日、米国のジョン・ケリー国務長官がラヴロフ外相に、ロシアがアレッポでのシリア軍の攻撃を止めなければ、米国は協力を停止するつもりだと伝えた。

<http://sptnkne.ws/csjm>

### ロシアと米国はアジア太平洋地域で協力する運命にある

(スプートニク 2016年09月30日 07:17 リュドミラ・サーキャン)

◎ AFP 2016/ Greg Baker <https://goo.gl/C9Pn8l>

一連の国際問題へのアプローチや評価について深刻な相違があるにもかかわらず、ロシアと米国はアジア太平洋地域での協力について一致点をもっている。この協力が両国関係、ひいては地域およびグローバルな安全保障にもよい影響を与える。その旨を記した報告書「アジア太平洋地域におけるロシアと米国」を世界経済国際問題研究所（ロシア）と国際戦略研究所（IISS、米国）の学者・専門家らが28日、モスクワで発表した。露米強力の展望という観点からアジア太平洋地域情勢を総合的に評価したことに加え、両国の政策決定機関に対する勧告も込められている点で価値のある報告書となっている。

IISSのサミュエル・チャラブ上級職員は語る。

「このプロジェクトは2013年、米露関係が悪く、しかし今よりは良かったときに始まった。報告書で我々は関係悪化を事実として受け入れている。しかし他にも重要な事実はある。米国とロシアはともに太平洋の大国であり、外交や多国フォーマットにおけるキープレイヤーである。その軍事力は地域において他のいずれの軍事力よりも高い。とりわけ将来における経済的な繁栄および安全保障という観点からともに同地域を重視している。もちろんミサイル防衛や米国の二国間同盟、中国へのアプローチに関するコンセンサスの欠如など、不一致点もある。しかし、アジア太平洋地域を欧州・大西洋や中東と比べた場合、両国には対立よりも利益一致点が多い。これが可能性および、あるケースでは対話と協力の必要性を予定する。」

アジア太平洋地域において露米の一致点は少なくない。航行の自由、海上安全保障、核不拡散、軍事衝突予防。また、北朝鮮の核開発問題についても、露米の立場は基本的に一致している。また、地域の領土紛争解決をめざした信頼強化への共通の取り組み。経済統合への障壁の除去および既存の地域二国および多国経済同盟間の関係調和。世界経済国際問題研究所のワシーレイ・ミヘーエフ副所長は、投資・貿易自由化を目指すTPPを含むあらゆる多国プロジェクトが将来的な展開を理解するためにロシアの注意を要請している、と語る。

「ロシアがシベリア東部と極東の発展戦略のためにアジア太平洋地域における協力のパートナーと方向性の多角化を図っているという点が非常に重要だ。これが「東への転換」のモチーフともなった。しかし、それが単なる「中国への転換」に陥ることがないように（もしそうなったならばロシアの行動の自由は制限されただろう）、ロシアは二国あるいは多国のフォーマットによる協力へのドアを閉めはしない。もしそれがロシアの国益に相応するならば、だ。」

ロシアの極東開発のための国益という観点からは、たとえば日本との経済協力が非常に重要だ。

安倍首相が言ったように、日本は今や、北方領土問題での進展を期待することなくロシアとの経済協力を発展させる意向である。対ロ経済協力を所管する大臣さえ創設された。12月15日にはプーチン大統領の訪日も予定されている。これは2009年以來のロシア大統領の訪日だ。サミュエル・チャラブ氏によれば、米国は日露接近に反対するものではない。

「バイデン・安倍会談後の共同通信のニュースに注意を喚起したい。米国は露日の関係正常化交渉を歓迎する、というものだ。どうなるかはわからないが、いずれにせよロシアも日本も二国間の政治・経済関係を打ち立てる際に外国に横目を使わずに行動する独立国なのだ。」

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部との立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/csuk>

## 中国 日本に「火遊び」をしないよう呼びかける

(スプートニク 2016年09月30日 10:10)

© AFP 2016/ POOL / RITCHIE B. TONGO <https://goo.gl/Mh83oJ>

中国は29日、南シナ海の係争海域で日本が米国と共同で警備を行なう可能性を示唆したのを受け、日本に「火遊び」をしないよう呼びかけた。AFP通信が報じた。

AFPによると、中国国務省のヤン報道官は定例記者会見で、「日本が、中国の統治する海域で共同哨戒活動や合同演習を行いたいというのであれば、それは火遊びをしているようなものであり、中国軍は黙認しない」と述べた。

日本の安倍首相は数ヶ月にわたり、南シナ海問題をめぐる国際仲裁裁判所の判決の受け入れを拒否している中国を批判した。

ハーグの国際裁判所は2016年7月、南シナ海の領有権をめぐり、中国に歴史的権利はないとする判決を言い渡した。

<http://sptnkne.ws/cstC>

## ポルトガル大統領、EUとの妥協を視野にいれた危機対策を

(スプートニク 2016年09月30日 08:41)

© Sputnik/ Lucas Rohan <https://goo.gl/q8gwJw>

ポルトガルのレベロ・デ・ソウザ大統領は与党、野党ともに危機対策へのそれぞれの提案はEUとの妥協をも視野に入れたものと、これを前向きに評価している。

年末が迫る中、ポルトガルではアントニオ・コスタ首相の政府提案の第1予算案の審議が行われている。レベロ・デ・ソウザ大統領は「政党のディベートおよび政府と野党間の討論に介入した」という噂を否定した。一方でレベロ・デ・ソウザ大統領はEU導入の規則に厳しい批判を展開する予算案の提案を楽観的にとらえている。

レベロ・デ・ソウザ大統領はスプートニクからの独占インタビューに答え、次のように語っている。

「2つの異なる方向性で審議が続けられているというのは良いことだ。それでも重なる共通の視点もある。EUと達成できる妥協を考慮しなければならない。両方の方向性でのディベートは不足を管理するためにできるあらゆる事を行なおうという目的を追求したものだ。これは言うは安しだ。歳出バランスの不足を管理。これもすばらしい。だがどうやってこれを達成する

かだ。厳格な財政規則と社会的公正の遵守をいかに両立させていくか。経済成長へのてこ入れは？ この問題について異なる見解が複数あるというのは選択ができるという点ではいいことだ。採るべきなのはどうしても考慮せねばならない点を考慮した堅実な決定だ。」

<http://sptnkne.ws/csuy>

## IMF：日本の賃金は低すぎる

(スポーツニク 2016年09月30日 13:28)

© REUTERS/ Kim Kyung-Hoon <https://goo.gl/00n7JP>

国際通貨基金（IMF）のルーク・エバアート氏は29日、IMFは日本の賃金が低すぎることを懸念していると述べた。

エバアート氏は、「我々は企業の資金が増えているのを背景に日本の賃金が低下しているのを懸念している。状態は悪化しすぎた。現在、労働条件は雇用主にとってあまりにも有利で柔軟だ」と指摘した。

エコノミストたちは、日本政府がデフレ対策に取り組んでいるのを考慮し、日本の低賃金問題を早急に解決する必要があるとの見方を示している。

先に、日本には、お腹をすかせた子供や、生活が苦しい子供のための食堂があると報じられた。

<http://sptnkne.ws/csrC>

## 中国 日本に「火遊び」をしないよう呼びかける

(スポーツニク 2016年09月30日 10:10)

© AFP 2016/ POOL / RITCHIE B. TONGO <https://goo.gl/giOWk2>

中国は29日、南シナ海の係争海域で日本が米国と共同で警備を行なう可能性を示唆したのを受け、日本に「火遊び」をしないよう呼びかけた。AFP通信が報じた。

AFPによると、中国国務省のヤン報道官は定例記者会見で、「日本が、中国の統治する海域で共同哨戒活動や合同演習を行いたいというのであれば、それは火遊びをしているようなものであり、中国軍は黙認しない」と述べた。

日本の安倍首相は数ヶ月にわたり、南シナ海問題をめぐる国際仲裁裁判所の判決の受け入れを拒否している中国を批判した。ハーグの国際裁判所は2016年7月、南シナ海の領有権をめぐり、中国

に歴史的権利はないとする判決を言い渡した。

<http://sptnkne.ws/cstC>

## **ロシアのブースがツーリズムEXPOジャパンで大反響を呼ぶ**

(スプートニク 2016年09月30日 12:21)

◦ 写真: Primorsky territory administration 1/2 <https://goo.gl/2g89ZR>

日本観光振興協会（日観振）と日本旅行業協会（JATA）が主催する国際観光展覧会「ツーリズムEXPOジャパン」を訪れた人が、ロシア沿海州地方のブースに大きな興味を示した。日本人がロシアの歌「カチューシャ」とロシア国歌を歌った。

東京ビッグサイトで開催されたツーリズムEXPOジャパンで沿海州地方の観光情報センターが同地域で観光できることをプレゼンテーションした。観光情報センターは、日本人が沿海州の観光商品に大きな興味を示したと指摘した。

センターのマリヤ・コプツェワ氏は次のように述べた。

「日本人は、文字通り全てに興味を持ち、特に文化的歴史的ツーリズムが注目を惹いた。日本の観光客と旅行会社の関係者に、沿海州の劇場「マリインスキー劇場」が巨大な興味を引き起こし、すでに劇場への団体予約が入っている。」

<http://sptnkne.ws/csu7>

## **ロシア外務省：米国のシリアでの協力拒否はテロリストへの贈り物**

(スプートニク 2016年09月30日 14:33)

◦ Sputnik/ Eugene Odinkov <https://goo.gl/pclm4K>

ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官は「シリアにおけるテロリストとの戦いにおいて、米国はロシア側との協力を拒否したが、これは、戦闘員にとってより良い贈り物となるだろう」と指摘した。

ザハロワ報道官は、自身の Facebook. の中に「もし協同行動停止に関しワシントンから示されている脅迫行為が、公式的な決定に変わるならば、ホワイトハウスが戦闘員を自分達の翼下に受け入れ、テロリストにとって大きなお祭りになることは、もはや疑いがないだろう」と書き込んだ。

ザハロワ報道官はまた「米政府は、長い間、原則的に、シリアにおけるテロリストの存在を否定

してきた」と強調した。

先にシリア政府軍司令部は、テロリストらがコントロール下に置いているアレッポ東部地区での作戦開始を発表した。政府軍は、一般市民に対し、戦闘員らが集まる場所や彼らの司令ポイントに近づかないよう呼びかけた。

<http://sptnkne.ws/csuJ>

## 日本政府 通貨政策の透明性を中国に求める

(スプートニク 2016年09月30日 15:08)

© Fotolia/ Angelika Bentin <https://goo.gl/VvMCj5>

中国は、自国の通貨政策をもっと透明性のあるものにすべきだ。今日30日、麻生財務相は、このように発言した。

麻生財務相は、国際通貨基金（IMF）の通貨バスケットに中国の人民元が近く含まれることについてコメントしたさい「中国は、自国の通貨管理政策を、より開かれたものにすべきだ」との考えを明らかにした。

明日10月1日、「特別引き出し権（SDR）」と呼ばれる、IMFの準備資産を構成する通貨バスケットが拡大され、中国の人民元が含まれることになる。

なお、先に伝えられたところによると、国際通貨基金（IMF）のルーク・エバアート氏は29日、IMFは日本の賃金が低すぎることを懸念していると述べた。

<http://sptnkne.ws/csuR>

## アメリカの核攻撃示唆に対するロシアの反応

(イランラジオ日本語放送 2016年09月30日 19時21分)

ロシア外務省が29日木曜、厳しい口調の声明の中で、アメリカの核攻撃の示唆に関して警告を發しました。

### ミールターヘル解説員

ロシア外務省はアメリカのカーター国防長官の26日月曜の声明について触れ、それをロシアへの核兵器による攻撃を示唆したものとしました。カーター長官は核による脅迫的な行動をとっているとしてロシアを非難し、「冷戦後、今もロシアをけん制するために核兵器が必要だ」と述べまし

た。

世界の核兵器削減に向けた努力に関するアメリカの主張にもかかわらず、この国は現在の核兵器の新型化、再開発に向けた大規模な計画を実行しています。アメリカの国防次官は2015年6月、強力な核の抑止力は依然としてアメリカの国家安全保障のために重要で必須のものとなるだろう、と強調しています。ロシアによれば、NPT核兵器不拡散条約の存在にもかかわらず、アメリカはこれまで同様、核兵器を維持しようとしているということです。

このような行動は、とくにアメリカのライバル国であるロシアや中国の核開発を口実に行われています。特にロシアは戦略的核兵器の再開発に莫大な費用を当てています。これに関してロシアは2020年までに戦略的核兵器の70%以上を新型のものにしようとしています。こうした中、アメリカはロシアよりもさらに大規模な計画を考えています。アメリカの会計局は2015年8月の報告の中で、アメリカ政府の25年間の核兵器開発計画には2,930億ドル以上の費用が見込まれているとしました。

NPTなどの核兵器削減に向けた国際的な措置にもかかわらず、核の大国はこれまで同様、新型核兵器の開発を追求しています。これに関して、アメリカ、ロシア、中国、フランス、イギリスの核5大国は、核兵器やその発射システムを配備、製造したり、こうした措置を実行しようとしています。実際、これらの国々は真剣に核兵器の削減、その段階的削減の計画を考えていないのです。

実際、アメリカ政府は公然と、自国や同盟国の国家安全保障を理由に核の先制攻撃を行う可能性があると他国を脅迫しています。こうした中、ロシアはロシアの現在の軍事政策において、攻撃を抑止するための核兵器の使用が考慮されていると表明しています。中国もまた、「核の先制攻撃は行わない。攻撃された場合にのみこの兵器を使用する」と述べています。

<https://goo.gl/b7WxfK>

## ロシア外務省 シリア・トルコ国境情勢に関するトルコのダブルスタンダードを指摘

(スプートニク 2016年09月30日 20:45)

© AP Photo/ Dmitry Lovetsky <https://goo.gl/2dT6kb>

ロシア外務省のオレグ・スィロモロトフ次官は、シリア・トルコ国境情勢に関するトルコ政府の二重の立場を指摘した。スィロモロトフ外務次官は、リアーノーヴォスチ通信のインタビューに応じた中で「シリア・トルコ国境地区を閉鎖する問題は、シリアの国内情勢安定化にとって基本的な問題の一つだ。我々は、国境を通じて一方的に武器が流れ込み、その反対に原油やアーティファクト（人工物）などが移動していることをよく知っている」と述べ、次のように続けた—

「最も肝心なのは、シリアに戦闘員らが移動するルートが、主にトルコを経由するという点だ。我々も米国も、いつもこの点について言っている。あらゆることが、様々な要因の中であまりに絡み合っている。トルコ人は、これはダーイシュ（IS）に対するものだ」と説明すると同時

に、クルド人に対する作戦を展開している。現在、国境は閉鎖されたというのと、今のところ我々はできないとは同じ意味である。」

<http://sptnkne.ws/csMp>

### **フランス軍戦闘機 「ダーイシュ（IS）」に対する出撃開始**

(スプートニク 2016年09月30日 21:42)

◎ AP Photo/French Army <https://goo.gl/eHWxkb>

フランスの空母「シャルル・ドゴール」の艦上戦闘機 Rafale が、最初の出撃を行った。テレビ BFM TV が伝えた。この出撃は、テログループ「ダーイシュ（IS、イスラム国）」戦闘員らに対する定例作戦の枠内で行われた。最初の空爆は、イラク北部の町モスルの「ダーイシュ」戦闘員らの陣地に対しなされた。

<http://sptnkne.ws/csMb>

### **韓国「高高度防衛ミサイル（THAAD）」をゴルフ場に配備**

(スプートニク 2016年09月30日 21:53)

◎ Sputnik/ Sergei Kuznetsov <https://goo.gl/vvqf04>

北朝鮮の弾道ミサイルに対する米国の最新鋭地上配備型迎撃システム「高高度防衛ミサイル（THAAD、サード）」の韓国での配備予定地は、東部の慶尚北道星州郡のゴルフ場になる見込みだ。聯合通信が、軍事筋の情報として伝えた。これまでTHAADミサイルは、2017年末までに星山砲兵隊基地に配備される予定だったが、レーダー波の人体への悪影響を心配する地元当局と住民の激しい反対に会っていた。新しい配備予定地は、郡の行政上の中心地星州の北18キロの地点で、海拔680メートル、星山基地より300メートル高い場所にあり、人家からもかなり離れている。

<http://sptnkne.ws/cszt>

### **MH17に関する国際的な調査：無視された事実は考慮されているものよりもはるかに多い**

(スプートニク 2016年09月30日 21:58 タチヤナ・フロニ)

◎ Sputnik/ Maxim Blinov <https://goo.gl/fcVIOF>

ドネツク近郊でマレーシア航空ボーイング777型機が墜落した件の調査の最初の結果が発表された。国際委員会によると、旅客機は蜂起勢力が支配していたエリアにロシアから運び込まれた地

対空ミサイルシステムから撃墜されたという。しかしこれらデータは当の地対空ミサイル「ブーク」の製造元であるロシアの軍事コンツェルン「アルmaz・アンテイ」が行ったおびただしい実験の結果によって裏付けられてはいない。

同社は 124 もの本格的なテストを行った。一方のオランダ側は主にコンピューターシミュレーションデータに大きく依拠した。発射装置の露国境から発射地に至る推定経路はインターネット上のビデオや写真にもとづき同定された。このようなアプローチは奇妙であり、調査には疑いがある、と専門家ら。

オランダの委員会は 1996 年に供給された地対空ミサイルシステム「ブーク」の一定の技術的特徴を明確にするために「アルmaz・アンテイ」ではなくフィンランドに照会を行った。しかし、専門家によると、国外に供給されたブークは性能が若干異なるという。

またオランダの研究者らはミサイルの弾頭部の実際の技術的データを考慮に入れていない。ロシアはあえてそのパラメータの機密解除を行っているにもかかわらず。逆に調査チームは、ミサイルの最も重要な特徴においてロシア製品の技術文書とは一致しない米国の教本からの情報に依拠している。「アルmaz・アンテイ」の主任設計士ミハイル・マルィシェフスキイ氏が語った。

「おそらく何らかの点で「アルmaz・アンテイ」の案は国際委員会にとって適切ではなく、ゆえにオランダのエレーナ研究所は米国の教本からデータをとった。そして後部爆破型円筒弾頭が基礎に用いられた。しかしブークミサイルの全タイプにおいては腎臓形の弾頭が使用されている。そして、雷管は正面から拡がっている。これが自動的に性能を変える」。

大きな疑問を呼ぶもう一つの重要な要因は、爆発点から飛行機までの距離。「アルmaz・アンテイ」によれば、オランダの専門家らは最終報告書の中では、それは調査の中で検討された数字と異なっている。しかも差し替えは最後になって行われた。まるでデータが特に事前に知られていた答えに特に替えられたようだ。

「変化など全くあり得ないような特性が変わった。左側では技術的な報告書案からの抜き書きが示され、そこでは白地に黒で、ボーイングの残骸には 300 もの損傷が発見された、と書かれた。未回収のそれを含めればそれは 600 にもなろう。損傷の最大密度は 1 平方メートルあたり 80 の穴に相当する。これは 4 メートルの距離で爆破した場合のブークの技術特性と正確に合致する。4 メートルというのは真実であるとは思われないことが明らかになったとき、それは 2 メートル移動した。そして、この報告書では、既に穴は 350 未回収断片を考慮に入れれば 800 と書かれている。密度は 250 穴に増加した」とミハイル・マルィシェフスキイ氏。

一方、これらのパラメータは全て、ミサイル発射地の決定に重要だ。そして、この点にもうひとつ重大な相違がある。国際委員会は、ミサイルは蜂起軍の支配下にある、事件のポイントに対して東側から発射されたと主張している。地対空部隊の駐屯地と考えられる居住区はスネージノエとペルヴォマイスコエであると名指しもされている。一方今週ロストフ州無線測位複合体が公開したデータでは、そのような説は完全に排除される。そしてロシアの軍事コンツェルン「アルmaz・アン

テイ」の実験データは、ウクライナ軍の管理下にあった反対側から発射された、と指示している。

「数多くの実験やシミュレーションの後、我々は完全に自説を確認した。すなわち、ロケットの到来とその接触の条件は、水平面内で72度の角度に相当する。これにより我々は南ザロシチェンスコエ地区からミサイルが発射されたというのが最も考えられる説であると確信した」とミハイル・マルィシェフスキイ氏。

**ペスコフ報道官**：マレーシア航空ボーイング機の件に関する調査データは最終的な真実と考えてはならないこのように、調査者がなぜか無視した事実は、考慮したものよりもずっと多い。現場を西および南側からカバーしていたウクライナのレーダーからのデータも多くを明らかにすることができただろうが、この情報はまだ公開されていない。一方ロシアの送ったデータは不審なほどの遅さで処理されている。モスクワの調査資料は必ずしも正式な調査の方針に収まらないかのだとも言われる。もっとも、ロシアは、ロシア・ウクライナ国境地帯の自国レーダーのすべての生データを提供してきた。それらについて詳細に、ロシア軍およびレーダー複合体の製造元であるリアノゾヴォ電気機械工場から説明もした。次のような結論だ。マレーシアのボーイング機のフライトの最後の数分間、蜂起勢力の支配下にあった領域、つまり東側から、何らの物体も接近しなかった。しかし、この情報は公開されていない。米軍から提供されたデータについては、調査者らは、これは非公開の情報である、とした。

これらの事実を考えると報告書は少なくとも説得力がないように見える。

国際調査チームはマレーシアのボーイング機を撃墜したミサイルの正確な型の特定に困窮している。コンツェルン「アルマズ・アンテイ」によれば、それはモデル9M38であることを確認した。ロシア軍にそのようなミサイルはない。2005年時点でウクライナはこのタイプのミサイルを約500有していた。しかし5カ国の研究者らは飛行機がウクライナの地对空兵器によって撃墜された理論的可能性さえ検討しなかった。ブークの製造元であるコンツェルン「アルマズ・アンテイ」が行い、その結果をほぼ一年前に報告したフルスケールの実験は言及もされなかった。もしかしたらロシアの専門家らがおそらくボーイングはウクライナのミサイルに撃墜されたと証明したからかもしれない。それをミサイル発射点も機体の損傷の性格もしめしている。

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/cs2n>

## ロシア海軍潜水艦はもうソナーに「映らない」

(スプートニク 2016年09月30日 22:03)

© Sputnik/ Vitaliy Ankov <https://goo.gl/m01Qba>

ロシアの潜水艦は、敵の艦船や潜水艦が発するソナー信号を歪めることができるユニークな圧電

セラミックアンテナを搭載することになる。新聞「イズヴェスチア」がロシア国防省スポークスマンの発言を引用して伝えた。

最新の開発物である潜水艦の胴体を覆うこのポリマー膜は、現在使用されている潜水艦でも、また今後使われる次の世代の艦船でも利用される。

システムの作動原則は、極めて単純だ。敵のソナー信号音は、ポリマー膜にぶつくと分析され、歪められ、送り返されてしまう。

先に伝えられたところによると、ロシアは軍備からスホイ 24 型機を除外した。

<http://sptnkne.ws/cs44>

## マスコミ報道、日本の狙いは投資と引き換えにクリル諸島を獲得

(スプートニク 2016 年 09 月 30 日 22:09)

© Sputnik/ Ekaterina Chesnokova <https://goo.gl/4UPm0g>

プーチン大統領の訪日時に安倍首相は一括した投資プロジェクトを示し、これと引き換えにクリル諸島の引渡しを提案する。イズヴェスチア紙が日本の外交筋に近い消息筋からの情報として報じた。消息筋はイズヴェスチア紙に対し次のように語っている。

「日本は小さいほうのシコタン、ハボマイの 2 島に集中した。だが日本のエスタブリッシュメントの一部は 4 島全島返還交渉を強要している。日本は極東に本格的な投資を行なう構えだ。これは道路、病院、都市のインフラ施設などの建設、そしてロシアの IT 技術への投資だが、これらおよそ 200 億ドルの投資は 10 年間は回収が不可能だ。日本はこれをクリル問題を解決する交換条件としている。」

ロシアとの領土交渉を監督している元外交官の東郷和彦氏は、今、双方ともが深い理解に達する歴史的なチャンスを有していると指摘している。東郷氏は、経済関係が両国関係の起爆剤となると期待を表している。

ロシア科学アカデミー極東研究所、日本調査センターのヴァレリー・キスタノフ所長は日本はクリル諸島問題の解決の作戦方法を変えたと指摘する。

「日本は以前はクリル問題を政治と関連付けていた。ところが今は力点がおかれる位置は経済へと代わり、投資と経済協力が筆頭に立っている。日本はロシアが評価できる好適な背景を生み出すことに期待をかけている。日本政府は極東開発と巨額投資を提案し、ロシア政府の譲歩を引き出そうとしているのだ。安倍氏はプーチン大統領との個人的関係に期待をかけている。安倍氏はこれを隠そうとはしていない。この 2 人のリーダーの間には非常に良好な関係がある。」キスタノフ氏はこ

う語る。

キスタノフ氏はクリル諸島に関する対話が活発化した原因について、おそらく安倍氏が2018年9月に首相の任期が切れることと関連しているとの見方を示している。

拓殖大学のヴァシーリー・モロジャコフ教授もキスタノフ氏の見解に同意を示しており、野心的政治家として安倍氏は領土問題を最終的に解決できなかったとしてもこれに著しい前進を達成することに望みをかけているとの考えを示した。

<http://sptnkne.ws/csMm>

### **シリアでのロシアの作戦1周年：地域でのロシアの存在は近い将来地中海全体のパワーバランスを変える**

(スプートニク 2016年09月30日 22:45)

© Sputnik/ Ramil Sitdikov <https://goo.gl/dlgygb>

ちょうど1年前の2015年9月30日、ロシア航空宇宙軍がシリアにあるダーイシュ（イスラム国、IS）戦闘員の拠点への攻撃を開始した。トルコの野党、共和人民党（CHP）のエルドアン・トプ拉克議員がスプートニクのインタビューで、ロシア航空宇宙軍の活動はダーイシュとの戦いで極めて重要な役割を果たしており、将来において地域のパワーバランスを変える可能性があるとし、次のように語った。

「1年前に始まったロシア軍のシリアでの作戦は国際的、そして地域的な政治の舞台での力の均衡を変えた。それまでは地域のメインプレイヤーは米国、そして時にトルコだった。ロシアの登場は、中央シリア政権の立場を堅固にした。さらに、ロシア航空宇宙軍の活動はダーイシュや地域のほかのテログループの進撃を大幅に防ぎ、ある場合には進撃を不可能にした。地域でのロシアの存在は近い将来に地中海全体のパワーバランスを変える。ロシアはテロリズムに対して活発的で、さらに何より重要なことに効果的な戦いを行うことで、地域でのその軍事的存在感を増し、立場を強化している。」

<http://sptnkne.ws/csAX>

### **沿海州漁業の未来に日本人らが招かれる**

(スプートニク 2016年09月30日 22:57 リュドミラ・サーキャン)

© Sputnik/ Sergei Krasnoukhov <https://goo.gl/9kqIrI>

ウラジオストクのルースキー島で開催中の第11回国際漁業会議に10カ国から約500人が参加し

ている。ロシア、イギリス、ノルウェー、日本、中国、韓国、香港その他の国の漁業分野の企業・省庁から代表者が集まった。

多くの参加者が既に大分以前から知り合い同士。会議では、経験の交換や、新しいパートナーの模索、漁業活動の発展を考えることのほか、漁業資源の維持についても話されている。これも非常に重要なことだ。フォーラムのメインテーマは、漁業への国の支援、漁業規制のための新しい法律、水産加工や造船、極東漁業クラスターの創出への投資だ。フォーラムのいずれの参加国にも漁業従事者と国の協力について独自の経験がある。ロシアにはこの経験が興味深いのだ。

生物資源の増大について、今、極東海域は好適な状況だ。しかし、ロシアの漁業にとっての主たる課題は、生の魚の輸出から付加価値の高い製品の輸出への移行だ。これには投資が必要である、とロシア漁業庁のイリヤ・シェスタコフ長官。

「沿海地方は出荷量、インフラ、登記されている漁業企業数の面で、ロシアのすべての漁業複合体のリーダー格だ。低温貯蔵施設の建設に関するウラジオストクとナホトカの漁港の具体的な計画があり、喜ばしい。漁業クラスターや競売場も形成されている。一般的に、動きは活発であり、これはよい兆候だ。経済成長は間違いなく高い投資活動を要請する。国はこの活発さを万策尽くして奨励する。今日、投資家らは、連邦および地域レベルで、国の様々な支援策にアクセスできる。補助金給付や、優先発展特区、自由港などだ。最近、漁業に関する新しい法律が発効、2016年の終わりまでに私たちは投資対象の割り当てを調整する一連の文書に対する作業を完成させることを期待している。」

漁師らの会議には日本の代表団も参加している。日本こそ極東における漁業に最も積極的だ。9月中旬、日本の投資家らは、潜在的な資本投下地であるサハリンのホルムスク地方のプラヴダ村にある小さな港を視察。かつてここに港を築いたのは日本の漁業協同組合だった。海の災害から小型の船艇を守るためだった。今やそれらのほとんどはとうの昔に摩耗し、使用されていない。

プラヴダ村のかつての集団農場7ヘクタールあまりが日本人らに対し投資先として提案されている。日本側はここに漁獲・加工・海洋生物資源の再生のための工場を開くことを検討している。

この地域の海洋水は暖流に洗われており、一年中凍結しないことを考えると、一年中魚をとることができる。日本代表団の話では、現在日本は魚・海産物の輸入国から世界最大の輸出国へと変貌しつつある。プラヴダ村への工場建設により国際市場への供給を増加できる。これは地元住民にも利益をもたらすという。

先に、ロシア極東発展省のアレクサンドル・ガルシュカ大臣は日本企業に対し、極東の水産加工施設への投資を呼びかけ、その引き換えとして水産生物資源の漁獲割り当てを提案だと報じられた。

<http://sptnkne.ws/csMt>

## クリミア、2016年の観光客数は記録的

(スプートニク 2016年10月01日 07:51)

© Sputnik/ Sergey Malgavko <https://goo.gl/Cz9pdG>

クリミアの観光客数は9月初旬の段階ですでに400万人を突破。昨年同時期は320万人。クリミア共和国議会、観光保養施設委員会のアレクセイ・チェルニャク委員長はこの割合で増えた場合、今年の観光客数は余裕で550万人を突破すると語っている。

クリミアの観光シーズンは長い。海開き自体は5月にスタートし、暑さは和らぐ9月半ばの「ビロードシーズン」まで4ヵ月半も続く。9月にはホテルは価格を下げてさらに呼び込み合戦を行うほか、スポーツ、文化イベントがあるため海以外の目的で訪れる人も引きもやらない。

クリミアではすでにお正月休みのホテルの予約が始まっているほか、今年クリミアの海に「戻った」ロシア人の来年の家族バカンスの割引予約もスタートした。

外国への渡航が困難だったソ連時代、クリミアは常に夏の大保養地だった。観光客数は1988年には820万人まで達している。

現在、クリミアへの主要な交通手段はシンフェローポリ空港とフェリー。空港利用者数は2016年の夏シーズン開始までに修復工事が完了したおかげでうなぎのぼりに増え、8月8日の1日だけで最高の3万6,900人に達している。シンフェローポリ空港は現在、ロシアで5番目に利用客の多い空港。ウクライナ時代の2013年の利用者数がわずか120万人、2011年には84万5,000人だったことに比較すれば、この数値ははるかに大きい。

将来はさらなる交通インフラの整備拡大がどうしても必要となる。現在建設中のケルチ海峡をまたぐ橋が完成すればロシア本土との距離はぐっと縮まる。

<http://sptnkne.ws/csMv>

## ラヴロフ外相 シリアの在野勢力とテロ組織を区別する約束を米国務長官に思い出させる

(スプートニク 2016年10月01日 08:23)

© Sputnik/ <https://goo.gl/1LthbS>

ロシアのラヴロフ外相は、米国のケリー国務長官と電話会談した中で、CIAのブレナン長官が約束した事、つまり「短期間で」シリアにおける在野勢力とテロリストの間の境界を決めるとした約束を思い出させた。ロシアのセルゲイ・リュプコフ外務次官が伝えた。

「電話会談では、シリア情勢が討議された。同国では、反政府勢力が、戦闘行動停止体制を台

無しにしつつある。ラヴロフ外相は、2月29日にモスクワに来たブレナンCIA長官が、短期間に『健全なシリアの在野勢力』とテログループとを区別すると約束したが、その後7ヵ月、この義務は果たされなかった、と指摘した。」

ラヴロフ外相とケリー国務長官の電話会談は、29日に実施された。リュプコフ外務次官によれば、会談は米国側の要請により行われたとのことだ。

<http://sptnkne.ws/csNb>

### 日本人専門家：MH17 便はウクライナ上空で撃墜。しかし同国の罪を誰も話さない

(スプートニク 2016年10月02日 06:13 エフゲーニヤ・モイセーエワ)

◎ Sputnik/ Andrei Stenin <https://goo.gl/Y0e8EK>

合同調査班 (Joint Investigation Team, JIT) が水曜日、ウクライナ東部のドンバスで撃墜されたMH17 便についての調査の中間結果を発表した。

最終的な結論はまだなく、事件の責任が誰にあるのかは依然としてわかっていない。更なる写真や動画、異なる事実が現れているが、重要なのは、調査がこれまでどおりに進み続けることだ。この悲劇の「犯人」が西側によって文字通りその当日に「発見され」たことは誰もが覚えている。

この技術的な実験データ戦争では、専門的な養成を受けていない人は容易に混乱する。そのため、この記事でデータ戦争の分析に戻ることはわれわれの望むところではない。そうではなく、JIT が新たな報告書で提出した最も「センセーショナル」な証拠の話をしましょう。調査班は証拠を発表し、「我われは親ロシア派戦闘員側で戦っている2人のロシア語話者たちによる、いくつかの傍受した会話の実例として挙げる」と述べた。

動画 <https://youtu.be/V5E8kDo2n6g>

JITはこの記録をウクライナ軍から受け取り、すぐさま分離主義者の罪の証拠として公開した。最も驚くべきことは、このさい調査班はこの「ロシア語話者」の身元を事前に特定する努力すらしなかったことだ。なぜ我われが、これは実際に「親ロシア側戦闘員」であり、俳優や迷惑電話犯ではないと信じなければならないのか？この質問に対するJITからの回答はない。この素晴らしい「ロシア語話者」たちの識別はまだ行われているという発表だけがある。

いったい録音の内容はどのようなものなのか？ 録音には3つの会話が含まれている。JITの情報によるとその中の1つは7月16日夜、つまりMH17 便の悲劇の前夜に行われた。その中で「ロシア語話者」は、「スーシカ」つまりSu シリーズ戦闘機からの爆撃を防ぐために、7月17日朝から地对空ミサイル「ブーク」を調達する可能性について話し合っている。会話しているのが本当

「親ロシア派戦闘員」だと仮に信じたとしても、いわくこの会話を傍受したウクライナ軍は、悲劇の前日にドネツク人民共和国に「ブーク」があることをよくよく知っていたということになる。ではなぜウクライナ上空は民間機に開放されたままで置かれていたのか？

スプートニクはこの悲劇とその責任について常識的な視点から論ずるよう、『「ウクライナ・ゲート」：危機の本質』の著者である塩原俊彦氏に依頼した。この著書で塩原氏はウクライナ危機の原因を分析し、「クリミア問題」とそれによって生まれた「親冷戦の始まり」についてのレトリックは、西側諸国が欧州での軍備を強化するために使用している覆いとなったに過ぎないと結論に至っている。塩原氏は危機の本当の理由をウクライナで横行しているナショナリズムに見ている。塩原氏は次のように述べた。

「仮に親ロシア派がいるところからマレーシア機が撃墜されたとして、問題はなぜ危険な空域であるウクライナの上空を、このマレーシア機が飛行したのかということだ。ウクライナ当局がなぜマレーシア機の飛行を認めていたのか。撃墜前の段階で2機か3機、飛行機が落とされているわけだ。そのように危険な場所であるにもかかわらず、ロシア側の報道によればウクライナ側は要するにお金が欲しいということもあり、一般航空機のウクライナ領空の飛行を認めていたわけですね？ しかし常識的に考えれば、非常に危険になっていたウクライナの上空に民間機を通行させること自体、ウクライナ政府に金が入ろうとも危険なのだから領空を通行させることを禁止させるべきであって、そうしていなかったウクライナ政府の責任については何ら言及されていないというのはおかしいだろう。これを私は強く感じる。」

ウクライナは金のために乗客の安全をリスクにかけただけでなく、それらの金で違法な細工をうまくやってのけたとの証拠がある。ウクライナ国立企業の「ウクルアエロルフ」（ウクライナ国家航空交通サービス）は、ウクライナ上空をコントロールする航空管制サービスを行うと同時にナビゲーションサービスを行っている。同国上空通過時に、同企業は収入を得ていた。つまり、ナビゲーションサービスを行っていたということだ。額は公開されたことがないが、メディアに「流出」した複数の情報源によると、額は年2億ドルに届いていた。さらに、ウクライナの非営利団体「グロマツキー検査局」の情報によると、ウクルアエロルフは違法な図式を通して金を洗浄していた。特に、洗浄会社「インペル・グリフィン・グループ」を通じて約1,200万グリブナが洗浄された。指導部に対しては2015年10月17日、刑事告訴された。

<http://sptnkne.ws/csTW>

## タイムズ紙報道、「ロシア」のせいでスウェーデンで徴兵制が復活へ

(スプートニク 2016年10月01日 11:12)

© REUTERS/ Soren Andersson <https://goo.gl/oUz5ZJ>

スウェーデン政権は8年前に廃止していた全面的な徴兵制度を復活させる計画。タイムズ紙が報じた。スウェーデンでは自発的な入隊者が不足しているため、1999年以降に生まれたスウェーデン

国民は 2018 年には徴兵される可能性がある。スウェーデンのフリトクヴィスト国防相によれば 1 年後には 4 千人の新兵が必要になる。スウェーデンはこの措置について、「ロシアからの脅威」が憂慮されるためと理由づけている。

<http://sptnkne.ws/cthx>

### **ウォールストリートジャーナル情報、サウジは O P E C で秘密取引を提案**

(スプートニク 2016 年 10 月 01 日 12:04)

◎ REUTERS/ Sergei Karpukhin <https://goo.gl/afMZuv>

アルジェリアでの O P E C 非公式会合でサウジアラビアはイランに対し秘密取引を提案していた。ウォールストリートジャーナル紙が消息筋の情報として報じた。提案の条件とはサウジアラビアは日量最高 40 万バレルの縮小に応じる代わりにイランも日量の採掘レベルを 360 万バレルで凍結するというもの。ところが消息筋によればイランのザンガネ石油相はこれを拒否。イランは日量 420 万バレルのレベルまで回復させる構えというのがその理由だった。

原油の関連ニュースはこちら。 <https://goo.gl/1stw5A>

<http://sptnkne.ws/csPc>

### **国家安全保障への脅威のため 12 のテレビ局閉鎖、トルコ**

(スプートニク 2016 年 10 月 01 日 13:08)

◎ Fotolia/ Tanor27 <https://goo.gl/G1HY2D>

トルコ政府は、国家安全保障への脅威の可能性があると見て 12 のテレビ局に閉鎖命令を出した。A P 通信が報じた。

テレビ局はテロ組織ないしグループ、そしてクルド人武装勢力との関与を非難されている。閉鎖されたマスコミの中には親クルド派的傾向のあるテレビ番組やクルド語に複製されている子ども用番組とアニメ映画があったという。

トルコは 7 月 15 日、クーデター試みの後全国で非常事態宣言を発令し、イスラム説教者フェトフッラー・ギュレン師との関係を疑い数十のマスコミを閉鎖した。

<http://sptnkne.ws/cthy>

## ロシアと日本はロシアのプーチン大統領の 12 月の日本訪問に向け一連の経済協力合意を準備しているーロシア副首相

(スプートニク 2016 年 10 月 01 日 16:44)

© Sputnik/ Vladimir Pesnya <https://goo.gl/ZjPI0G>

ロシアと日本は今年 12 月のプーチン大統領の日本訪問に向け一連の経済協力合意を準備している。フォーラム「ソチ-2016」でロシア副首相アルカージイ・ドヴォルコヴィチ氏が記者団に語った。

同氏は 2 日実務訪問で京都を訪れハイテク関連フォーラムに参加する。

「日本では我々はウラジオストクでロシア大統領と首相が議論した方向性について議論する。すでに表明された 8 つの項目について議論した。今回は最終的な合意に署名する予定はない。それらは大統領の 12 月の訪問に向けて準備されると思う」と副首相。

<http://sptnkne.ws/csTY>

## ロシア、国連安全保障理事会議長国に

(スプートニク 2016 年 10 月 01 日 16:51)

© REUTERS/ Carlo Allegri <https://goo.gl/ks30s0>

ロシアは 10 月 1 日より国連安全保障理事会の議長となる。シリア情勢が緊迫化し、次期国連総長の選挙が最終段階に入るタイミングで安保理を指導する役に就くことになる。

ロシアが議長国を務める下での最初の会議は 3 日開催され、今月の作業プログラムが承認された。同日ロシアのヴィタリー・チュルキン国連大使が 10 月に予定されている主なイベントについて発表する。

<http://sptnkne.ws/csSm>

## 韓国大統領、北朝鮮市民に南へ逃げるよう呼びかけ

(スプートニク 2016 年 10 月 01 日 19:31)

© AP Photo/ Chung Sung-Jun <https://goo.gl/JEIEWY>

韓国のパク・クネ大統領は北朝鮮市民に南へ逃げるよう公然と呼びかけた。「我々は北朝鮮市民が自分の夢と運命を見つける道を開く。自由な韓国にいつでも出かけてほしい」と大統領。聯合通信が伝えた。大統領はまた社会の内部分裂を「北朝鮮の核兵器より恐ろしいもの」とし、それを許

容しない旨を述べた。北朝鮮の核・ミサイル実験の頻発により朝鮮半島の安保情勢は危機的であるとの評価も示された。

<http://sptnkne.ws/csUg>

## **エフゲニア・メドベージェワがスポーツニクに明かす！ どうして日本が大好きなの？ 苦手なもの？ 次のコスプレは誰？（写真、動画）**

（スポーツニク 2016年10月01日 20:41）

◎ Sputnik/ Sputnik Japan <https://goo.gl/LaKtgx>

10月1日、さいたまアリーナで好例の「フィギュアスケート Japan Open」が開幕する。この国際試合には欧州、北米、日本から代表団が参加するが欧州代表団には世界チャンピオンと欧州チャンピオンのタイトルを持つあのロシア人フィギュア選手が参加している。

**動画** <https://youtu.be/qaZRy6T09f4>

エフゲニア・メドベージェワ選手は名古屋のリンクで「美少女戦士セーラームーン」のテーマソング「ムーンライト伝説」に合わせた滑りを披露するやいなや、日本人の心をすっかり魅了してしまった。エキシビジョンナンバーはセーラームーンのうさぎを演じたものだった。しかも原作者の武内直子さんはジェーニャ（エフゲニアの愛称）と対面し、その際、サイン入りの色紙まで贈呈されている。ジェーニャが日本人を驚かせたのはスポーツの技だけではない。彼女は実は日本語までしゃべれるのだ。あるTV局からのインタビューにジェーニャが「セーラームーン」の歌詞から1節をすらすらと日本語で語ると、そのビデオはたちまちSNS上を駆け巡り、空前のヒットとなった。

◎ 写真：エフゲニア・メドベージェワ選手、コーチと <https://goo.gl/g01WPt>

スポーツニクは日本のエフゲニア・メドベージェワのファンたちにとびきりのプレゼントをしようと、彼女に独占インタビューを申し入れ、承諾を得た。取材はジェーニャとコーチが練習を行なうスケートリンクで行なわれた。招かれたスポーツニクの記者たちを驚かせたのはジェーニャの人懐こさと快活さ、そして相手の心をとろかしてしまう最高のスマイルだった。そしてその練習風景…。毎日のハードな特訓の中からいかに次のナンバーが生まれていくか、これはその様子を垣間見る貴重なチャンスだ。

**動画** <https://youtu.be/9liSxrvLUSw>

練習の後は待望のインタビュー。ジェーニャはスポーツニクに自分のことをたくさん打ち明けてくれた。スケートを始めたのは何歳でなにがきっかけだったか、どうしてこんなに日本好きになったのか、何が苦手な自由時間は何を、どこでくつろぐのが好きなのか、そんな生活のこまごま

とした話をロシア版セーラームーンのジェーニャは特別に日本のみなさんに向けて語ってくれた。

動画 <https://youtu.be/T1GUco9-YUQ>

<http://sptnkne.ws/csUM>

### 日本、医療および郵便配達分野でロシアに技術提供

(スプートニク 2016年10月01日 20:34)

◎ 写真: Host photo agency <https://goo.gl/M67RT0>

日本政府は領土問題に関する交渉を前進させるために経済協力を拡大する枠内で、医療および郵便配達分野でロシアに技術提供を行う意向。1日、日経新聞が報じた。

「医療分野では日本は手術中の患者の負担を軽減する一連の技術を提供する準備ができている。また日本はロシアに対し日本の医師がロシアの患者を治療する許可を与えるよう提案する意向」と同紙。

また東芝と日本郵政公社が「ポーチタ・ロシーイ（ロシア郵便）」と郵便配達加速化について協力を発展させる計画もあるという。

両国経済協力はロシアでの操業を望む日本企業の支援と観光促進を目指していると同紙。先に、ロシアと日本は今年12月のプーチン大統領の日本訪問に向け一連の経済協力合意を準備していると報じられた。

<http://sptnkne.ws/cth9>

### ケリー長官、ロシアの外交官に上を行かれたと語る

(スプートニク 2016年10月01日 23:26)

◎ AFP 2016/ Molly Riley <https://goo.gl/lFkz1y>

ニューヨークタイムズ紙は、米国のケリー国務長官とシリア反体制派との会談の概要を公表。その中で長官は、シリア問題でロシアは米国の一枚上を行った、と語った。同紙は国連総会に合わせて開かれた会合の40分間に及ぶ音声記録を入手。長官はこの中で数度、自身の外交努力は軍事力使用の現実的脅威に裏付けられてはいない、と語った。

長官は米国の政策への失望に同情を寄せたり、それを正当化したりしようとしているという。「彼のオバマ政権への失望と意見の相違は特に秘密だったわけではないが、ケリー氏は記録で公然と、

ロシアの上を行かれたと嘆き、オバマ大統領の決定に対する意見の相違を表現し、議会は絶対に武力行使に同意することはないだろうと言った」と同紙。

先に、ラヴロフ外相は「ロシアがシリアに関するプラン”B”について述べた事は一度もない」と指摘した。

<http://sptnkne.ws/cthA>

## 日本 宇宙開発分野でロシアとの協力発展の意向

(スプートニク 2016年10月02日 00:09)

◎ 写真: ESA/Hubble & NASA and N. Grogin (STScI) <https://goo.gl/xjPHAI>

日本とロシア両政府は、経済的協同行動拡大の枠内で、宇宙テクノロジー及び宇宙開発分野での協力を強化する諸問題の話し合いを開始した。10月1日、読売新聞電子版が伝えた。

今後この分野での協力の基盤に置かれるのは、ロシアの「ヴォストートヌイ」基地からの人工衛星打ち上げと宇宙関連テクノロジーだ。ロシアとの経済協力発展問題を担当する世耕弘成(ひろしげ)経済産業相は、来月11月のロシア訪問時に、この問題を討議する作業グループの創設を提案すると見られている。

現在、日本は衛星打ち上げ用に、国産のH-2Aを使用しているが、その稼働は外国産のものに比べかなり高くつくため、日本の専門家らは、毎回の打ち上げ経費を下げるができる新しいモデルH-3を開発中だ。もし日本が、より安くつくロシア製のロケットの助けを借りて、人工衛星打ち上げを実施できれば、民間通信衛星会社による利用拡大につながると期待されている。

<http://sptnkne.ws/ctah>

## 腹這いになった23匹の子パンダの動画がネットで人気爆発(写真、動画)

(スプートニク 2016年10月02日 03:36)

◎ REUTERS/ China Daily <https://goo.gl/4BYZnt>

中国・成都の研究センターで生まれた1～4ヵ月のジャイアントパンダ23匹のビデオ。

[twitter.com/](https://twitter.com/) <https://goo.gl/R0U5vi>

年内にさらに4匹が生まれる見込みという。27匹というのはほぼ昨年倍。うち10組が双子という。

動画 <https://youtu.be/22wR7sJbL70>

先に伝えられたところによると、ニュージーランドに羊と仲がいい猫、スティーブが住んでいる。

<http://sptnkne.ws/ctf9>

### **クリントン候補 膨大な費用がかかる核再軍備プラン縮小を望む**

(スプートニク 2016年10月02日 09:04)

© AFP 2016/ CHRIS KLEPONIS <https://goo.gl/yJGrgP>

米国のクリントン前国務長官（民主党大統領候補）は、核兵器近代化に向けた国防総省のプランを批判した。これは、クリントン氏が支持者に述べた非公式発言の録音がサイトに漏れ明らかになった。この録音は、今年2月になされ、選挙本部のある職員の電子メールからハッキングされたものだ。

米国の複数のマスメディアが、この録音の一部を公表した。録音の中で、クリントン氏は特に、オバマ大統領が承認した核兵器刷新に向けたプランを批判している。クリントン氏は、次のように述べている—「我々にとって必要な最新兵器は、核弾頭を搭載するハイテク巡航ミサイルである。あつた戦術ミサイルによる刷新プランなど、合衆国にとって最も恐ろしいシナリオだ」。

<http://sptnkne.ws/cthG>

### **国連事務総長「国連安全保障理事会改革の時が来た」**

(スプートニク 2016年10月02日 10:27)

© AP Photo/ Mary Altaffer <https://goo.gl/u6aAFP>

国連の潘基文事務総長は、国連安全保障理事会改革の時期が到来したとの見方を示した。

事務総長は、ブリーフィングで「安保理事会が、民主的で代表機関により相応しい方向に改革される時が来た」と述べ、国連発足以来、安保理事会が変わったのが一度きりである点を指摘した。また潘基文事務総長は「様々な国家グループから改革に関するいろいろな提案が寄せられているが、各国の意見が一つにまとまらない」と強調した。

なお中でも、国連安保理常任理事国が拒否権を行使する権利を制限すべきだとするフランスとメキシコの提案は、加盟国の中でも関心を惹き注目されている。

<http://sptnkne.ws/cthJ>

## ナショナル・インタレスト：世界を支配する米国の試みは失敗する運命にある

(スプートニク 2016年10月02日 11:29)

© Sputnik/ Igor Mikhalev <https://goo.gl/KjtXkZ>

誰にも自らの利益を押し付ける米国の行動が世界を損なった。米国によるあらゆる軍事介入がむしろ紛争を深刻にした。ケイトー研究所上級研究員で元米大統領ロナルド・レーガン氏の元特別補佐ダグ・バンドウ氏がナショナル・インタレストに論文を寄稿した。

米国の失敗した外交政策の背後にいる人たちは、ワシントンがますます決定的な行動を起こした場合にはすべては違っていたらと信じている、とアナリスト。「彼らの考えでは、問題は米国が戦争に参入することではなく、十分に戦争に参加しないことにある」。

バンドウ氏は、このようなアプローチは、米国が世界のすべての問題を解決できるのだという政治家の信念に基づいている、と考えている。

「もしある種の優秀な人材が理論的にすばらしい戦略を実現し、そこにある種の決然たる市民の支援があれば、テロリズムは克服されただろう。ダーイシュ（I S、ロシアでは活動が禁止されている組織）は克服されただろう。ロシアは屈せられ、イラク作戦は失敗せず、シリアには平和があり、リビアは一つの国であり、中国はもっと礼儀正しかっただろう。しかし実際にはそのような「人材」も「戦略」も存在していない」と同氏。

<http://sptnkne.ws/cthM>

## 安倍首相 京都で露副首相と会談

(スプートニク 2016年10月02日 18:17)

© Sputnik/ Nina Zotina 1/2 <https://goo.gl/JXTHdc>

日本の安倍首相は2日、ロシアのドヴォルコヴィチ副首相率いるロシア代表団を迎え入れた。会談は、京都で開かれる科学技術の国際フォーラムの場で行われた。

ドヴォルコヴィチ副首相は、安倍首相と具体的な経済協力プロジェクトについて協議した。2日、ドヴォルコヴィチ氏が京都でロシアの記者団に明らかにした。

またドヴォルコヴィチ氏は、科学技術やイノベーション分野における露日関係の発展は、安倍首相が提案した経済協力プランを成功裏に実現する重要な要素の一つとなっていると語った。

安倍首相は5月、エネルギー、産業、健康、農業、都市づくり、中小企業協力、先端技術協力、人的交流からなる8つの異なる分野の重要な投資プロジェクトの実施に関するプランをロシアに提

案した。

<https://goo.gl/BzqEQn>

## **NYT：トランプ氏に多年にわたり税金を払っていなかった疑い**

(スプートニク 2016年10月02日 17:20)

© AFP 2016/ Jewel Samad <https://goo.gl/2vEUPN>

権威ある米紙ニューヨークタイムズはドナルド・トランプ大統領候補の納税史に関する記事を掲載した。それによると、同氏は1995年にほぼ10億ドルの損失を宣言し、それによって合法的に18年間税金を支払うことを免れた可能性がある。

同紙入手の文書によると、90年代初頭、氏はビジネスに問題を抱えた。3つのカジノが経営に非効率をきたし、航空会社の事業に失敗、ニューヨークのプラザホテルの購入も裏目に出た。本人はこれらの事実についてはコメントを控えた。同氏の弁護士はデータの公表が違法であるとして記者らを警告した。先にCNNの視聴者らはトランプ氏との討論においてクリントン氏が勝利したとの判断を下した。

<https://goo.gl/y04YMk>

## **日本 プーチン大統領訪日での平和条約締結交渉の進展に期待**

(スプートニク 2016年10月02日 17:41)

© AFP 2016/ Mandel NGAN <https://goo.gl/PUAVUR>

日本の安倍首相は、科学技術に関する国際フォーラムが開催された京都でロシアのドヴォルコヴィチ副首相と会談し、12月に行われるロシアのプーチン大統領訪日の際の平和条約締結交渉の進展に意欲を示した。共同通信が報じた。

NHKによると、安倍首相は12月に日本で行われるプーチン大統領との会談について、「平和条約締結交渉を含む幅広い分野で成果を出し、日ロ関係を全体的に発展させる機会となることに期待したい」と述べたという。なおドヴォルコヴィチ副首相は、「様々な分野での協力の実現や、(露日)関係を発展させる」ためにプーチン大統領の訪日に向けた準備が精力的に行われていると指摘した。

<http://sptnkne.ws/ctBm>

## 英国首相、EU離脱の第一歩を発表

(スプートニク 2016年10月03日 03:25)

© AFP 2016/ Samuel Kubani <https://goo.gl/7LHI4K>

テレサ・メイ英首相は、EU離脱の第一歩となる施策について発表した。Brexit手続き開始のタイミングは他の国でなく英国の利益に基づいて決められる、と首相は強調した。ゆえに来秋に開催されるドイツの議会選挙の終了を待たず、リスボン条約の第50条、EU離脱についての域内加盟国への通知を実施するという。「英国におけるEU法の効力は終わる」と首相。この件に関する交渉は最大2年続くという。9月上旬、メイ首相は、Brexitの結果として英国経済は損失を被るであろうとの認識を示した。「私は経済の反応は投票後に一部でささやかれた予測より良いだろうと思うが、すべてがスムーズに行くかのように言うことはしない」と首相。

<http://sptnkne.ws/ctuJ>

## インターネットが米国の管理下を脱する

(スプートニク 2016年10月03日 03:51)

© Fotolia/ Gajus <https://goo.gl/SPHxz0>

米国当局は最重要な構造体の一つインターネットへの制御を失った。ドメイン名・IPベース管理会社（ICANN）と米商務省電気通信情報局（NTIA）の契約が1日、正式に満了した。これは米国当局が最重要な構造体の一つインターネットへの制御を完全に失い、管理権が国際的な公共団体に完全に移行したことを意味する。「これは歴史的な瞬間であり、インターネットの個別インジケータの調整と管理が民間部門に移行したことを示す。これは1998年に開始されたプロセスだ」とICANN報告書。

先に伝えられたところ、ハッカーが、検索エンジンやメールなどのインターネット関連のサービスを提供するYahooのユーザー5億人のデータを盗んでいたことが分かった。

<http://sptnkne.ws/ctpr>

## 英国に対ロシア・プロパガンダを停止するよう求める声

(スプートニク 2016年10月02日 20:16)

© Fotolia/ Tsian <https://goo.gl/B8mhdR>

英国でラジオLBCの放送において女性リスナーがロシアに対するプロパガンダに疲れたと訴えた。サンデイ・エクスプレスが伝えた。イボンヌと名乗るその女性は2014年にウクライナ領で撃墜

されたMH17 旅客機に関する議論の最中電話を寄せ、「全方位からあまりに多くのプロパガンダが聞こえる。もうやめるべき時だ」と主張した。英国は民間の飛行機を撃墜などしていないと言って宥めようとする司会者の試みに対し女性は、「プーチンはいいい男などでは全くないが、わが国の政府は世界中の紛争をあおり、もっと悪い行動をとっている」と述べた。

「我々は世界中に侵略をしかけ火に油を注いでいる。プーチンはそんなことはしていない」「我々はあまりに多くのプロパガンダがあり、まるで狂人のように戦争へと行進している」と同女性。

<http://sptnkne.ws/ctyC>

### **ナショナル・インタレストがロシアと米国の原子力潜水艦を比較**

(スプートニク 2016年10月02日 22:06)

写真 <https://goo.gl/Z0b8x7>

ナショナル・インタレスト誌がロシアの第四世代原子力潜水艦「ヤーセニ」と米国のライバルである多目的潜水艦ヴァージニアブロックⅢの性能を比較した。筆者のカイル・ミゾカミ氏は、ソ連の消滅で米海軍が優位に立ったが、米国潜水艦の近代化に遅れ、今やロシアに対する無条件の優位はないという。いくつかの点で性能が比較された。

ロシアの「セヴェロドヴィンスク」は米国のものおより遅いが、米国のヴァージニアより深く潜れる。「セヴェロドヴィンスク」は対艦ミサイル「カリブルPL」を積んでおり、敵艦の行動に迅速に対応することができる。他方のヴァージニアはより静かであり、より良い水中音響システムを持っている。米国は音響測位性能でロシアの上を行っているが、その差は縮まりつつあるという。

先に伝えられたところ、米国ワシントン州沖で大陸間弾道ミサイルを搭載した米国海軍の原子力潜水艦ルイジアナと小型の補給艦が衝突した。

<http://sptnkne.ws/ctrS>

### **ウクライナに同性愛者同士の結婚、売春、マリファナを合法化する動き**

(スプートニク 2016年10月02日 22:25)

© AFP 2016/ Sergei Supinsky <https://goo.gl/SSInvg>

ウクライナ議会のセルゲイ・レシチェンコ議員は次回の国会でウクライナにおける同性愛者同士の結婚、売春、麻薬を合法化する法律が採択されると述べた。法律は確実に通るといふ。これがEU統合の条件となる可能性もある。

クリミア、2016年の観光客数は記録的軽度の麻薬の合法化について同議員は、こうした傾向は世界的なものであると述べた。欧州では重度の麻薬こそが主な脅威であると認識されているという。売春合法化は労働者の社会的保護軽減、国家歳入増と観光客誘致につながるという。ロシア・トゥデイが「コレスポンデント」をもとに伝えた。

先に伝えられたところ、ウクライナ人ジャーナリストのヴィタリ・セディウクは、米モデル、女優のキム・カーダシヤンの臀部にキスをしようとした。

<http://sptnkne.ws/ctsB>

### **スペインの祭で爆発、90人負傷**

(スプートニク 2016年10月02日 23:00)

◎ REUTERS/ Wikono via Reuters TV <https://goo.gl/ZvaSdf>

スペイン南部の祭の最中にカフェで爆発があり、少なくとも90人が負傷した。日曜、AP通信が報じた。事件は海辺の町マラガで発生した。救急によると、57人が近くの病院に運ばれた。一部は重体、残りは軽傷という。原因はガス漏れである可能性があるという。捜査も開始された。

先にニュージャージー州の鉄道駅で電車が横転、100人あまりが負傷したと伝えられた。

<http://sptnkne.ws/ctCh>

### **メドヴェージェフ首相「制裁は経済の最重要問題ではない」**

(スプートニク 2016年10月03日 11:04)

◎ REUTERS/ Michael Dalder <https://goo.gl/IoT6ya>

欧米諸国によってロシアに課されている制裁は経済にとっての最大の問題ではない。ロシアのメドヴェージェフ首相が第1チャンネルのインタビューで述べた。政府ホームページに内容が掲載された。「制裁、いわゆる我が国への外部から押し付けられた影響のことを行っている。はっきり言って、これは悪いことであるが、最重要なものではない。我が国の経済には、周知のように、この数十年で構造問題が蓄積しており、経済システム自体にひずみができている」と首相。メドヴェージェフ首相によると、このシステムの改革の難しさは、それがソ連時代に作られ、半世紀をかけて形成されてきたという点にある。

<http://sptnkne.ws/ct8A>

## 日本首相 南クリル4島は日本固有の領土

(スプートニク 2016年10月03日 15:37)

© Sputnik/ Mikhail Klementyev <https://goo.gl/b8nlef>

日本の安倍首相は南クリル諸島について、日本固有の領土だと考えており、ロシアとの交渉ではこの立場に基づく。安倍首相は3日、衆院予算員会での質疑に対してこのように答弁した。衆院予算委員会質疑は、日本の公共放送で中継された。

安倍首相は、「北方領土は日本の固有の領土であるという日本の不変の立場があります。どういふときに平和条約を締結をするのかということについては、4島の帰属問題を解決をして平和条約を締結する、これがすべてであります」と述べた。日本のマスコミが報じた。

これにより安倍首相は、日本がシコタン島と無人島のハボマイ群島の2島のみを受け取りで平和条約を締結する用意があるとする最近の報道を否定した。

先にマスコミは、日本の狙いは投資と引き換えにクリル諸島を獲得することだと報じた。

<http://sptnkne.ws/ct5g>

## 安倍首相：対ロシア制裁は平和条約締結交渉とは関係ない

(スプートニク 2016年10月03日 19:55)

© Sputnik/ Tadyldy Kadyrbekov <https://goo.gl/AY6cqF>

日本はクリミアとロシアの再統合を認めないが、同問題はロシアとの平和条約締結交渉とは関係ないと考えている。安倍首相が3日、衆院予算員会でこのような考えを表した。

安倍首相は、日本がロシアのみならずウクライナにもミンスク合意の厳格な履行を呼びかけると述べた。

民進党の前原誠司氏は、米国で大統領が交代する時期にロシアとの交渉を進展させることで、米国との同盟関係への日本の忠誠に対する疑問を呼び起こす可能性があるため、この時期にロシアとの交渉を進展させるべきではないとの考えを表した。

安倍首相は、「日ロの平和条約は当然、日本が主体的に判断するもの。米国が『これをやりなさい』『これはダメだ』ということではない」と述べ、一方で「日ロ交渉のいちいちすべてを米国と協議することはないが、基本的な考え方について米国と話すことは当然、同盟国として行わなければいけない」と語った。朝日新聞が報じた。

また安倍首相は、70年間動きのなかったロシアとの関係を今進展させているとし、これは簡単なことではないと述べ、プーチン大統領と14回会談して信頼関係を構築し、70年間も平和条約が締結されていない状態は異常であるとの共通の見解に達したと指摘した。

露日関係の関連ニュースはこちら。 <https://goo.gl/tLTqCO>

<http://sptnkne.ws/ct6e>

### **数千人のユダヤ人をナチスから救った日本の外交官をしのぶ会がモスクワで開かれる**

(スプートニク 2016年10月03日 20:03)

◎ 写真: Public domain <https://goo.gl/TRFYOH>

1940年にナチスの迫害を逃れて欧州から脱出しようとした数千人のユダヤ人難民を救った日本の外交官、杉原千畝氏(1900-1986)をしのぶ会がモスクワで開かれた。杉原氏をしのぶ会は、モスクワのパクロンナヤ・ガラーにあるメモリアル・シナゴグで開かれ、外交官や学术界の代表者らも出席した。

杉原氏は1939-40年、当時リトアニアの首都だったカウナスで日本領事館の副領事として勤務。1939年にポーランドがナチス軍に占領された後、ナチス第三帝国での迫害を逃れてユダヤ人難民がリトアニアに押し寄せた。しかしそのうちの大勢が旅を続けるための手段を持っていなかった。杉原氏は、日本での身元保証人の存在や金銭的保証に関する指示に反して彼らにビザを発給した。

杉原氏はカウナスでの職を解かれる1ヵ月前までビザを発給し続けた。その数は2,132枚に及ぶことが分かっている。ビザは家族に対して発給され、そのおかげで複数のデータによると6,000人から1万人が救われた。このビザのおかげでユダヤ人らはナチスの追跡をのがれ、ソ連領を通り、日本へと渡ったため、その先の国へとわたるチャンスを手にすることが出来た。ナチスの占領地あるいは中立国でこれほどたくさんのビザをユダヤ人難民に発給した外交官は誰もいない。

<http://sptnkne.ws/ct62>

### **タリバン、アフガニスタン北部で大規模な攻撃を開始**

(スプートニク 2016年10月03日 18:20)

◎ AP Photo/ <https://goo.gl/8E0g1H>

3日未明、過激派タリバンがアフガニスタン北部のクンドゥズ市で協調攻撃を開始した。ロイター通信が報じた。地元警察幹部によればタリバンは4方向から攻撃を開始し、市街への侵入を試み

ている。攻撃は現地時間の深夜、日本時間の早朝4時半頃始まり、市の周辺および内部で戦闘が続いている。アフガニスタン軍のヘリコプターが市上空を飛行しており、市内では銃声が聞こえるという。

死傷者の情報はまだ入っていない。現地情報では、少なくとも5人のタリバン戦士がカラシニコフ小銃、機関銃、グレネードランチャーで武装した状態で市の内部に入っている。タリバンは8月にはクンドゥズ州のハナバド地区を制圧している。

前に伝えられたところでは、過激派組織タリバンとテロ組織「ダーイシュ（イスラム国、I S）」は、アフガン軍と米同盟軍により効率的に対抗するためアフガニスタンで非公式停戦を結んだ。

<http://sptnkne.ws/ct6U>

## ハンガリー 難民受け入れ問題に関する国民投票が失敗

(スプートニク 2016年10月03日 18:06)

◦ AP Photo/ Tamas Kovacs <https://goo.gl/9cy115>

ハンガリーで行われた欧州連合（EU）の難民割り当てに関する国民投票は、投票率が43%で、必要とされる50%に届かなかったため、無効となった。ハンガリーの選挙管理委員会が発表した。西側のマスコミによると、開票率99.25%で98.3%がEUの難民受け入れ割り当てシステムに反対した。

ハンガリーのオルバン首相は、国民投票の結果が効力を持つようにするため、憲法改正を提案する意向。首相は、「ブリュッセルはハンガリーに移民の受け入れを強制することはできない。EUはハンガリーの人々の意思表明を考慮するべきだ」と述べた。AFP通信が報じた。先にオルバン首相は、国民投票で移民受け入れの支持者たちが勝利した場合、辞任する用意があると述べていた。

なお、先に伝えられたところによると、オランダ大統領は、カレーの難民キャンプ撤去を呼びかけた。

<http://sptnkne.ws/ct7B>

## ロシアとの平和条約は安倍首相にとっての強迫観念

(スプートニク 2016年10月03日 19:15 リュドミラ・サーキャ)

◦ AFP 2016/ Saul Loeb <https://goo.gl/1k4WCp>

安倍首相は9月30日衆議院での演説で、平和条約締結と「四島返還」をめざしロシアと広範な経

済交渉を行うという意向を示し、70年間にわたって解決できなかった問題の重大性を認識してはいるものの、解決にむけ全力を尽くすと述べた。

首相は次のように述べた。「経済分野を含め幅広い分野で日ロ関係を国益に資するような形で進めていく中で、4島の帰属の問題を解決をして平和条約を締結すべく、引き続き、ロシア側との間で粘り強く交渉に取り組んでいく考えでございます。もちろん70年間解決することができなかった問題ではありますが、全力を尽くしていきたいと思っております。」

平和条約締結のあらゆる側面を「静かな環境で」プーチン大統領との率直な対話において話し合い、領土問題について相互理解を達成したい、と安倍首相。先にプーチン大統領も平和条約締結の条件として高度な信頼感と双方ともが敗北感を感じないような形式を模索する必要性を挙げていた。

「まずは歯舞と色丹の返還に片をつけ、同時に経済協力を推進。残る択捉と国後の帰属は継続協議とし、平和条約締結に道筋をつけるというシナリオで、かつて日ロ交渉に携わり、現在も安倍首相に対日外交を助言する鈴木宗男元衆院議員の提言と似ている」との自民党の参院議員阿達雅志氏の言葉をロイターが伝えている。

日本がもし本気でそのようなアプローチをとるならば、それは1956年のモスクワ宣言への回帰を意味する。平和条約締結後に善意で2島を日本に譲渡するというものだ。スポーツニクの取材に専門家アンドレイ・フェシュン氏が述べた。

「ロシアとの平和条約は安倍首相にとっての強迫観念だ。彼はそれで歴史に名を残したい。仮に領土問題で最終決着できなくても、少なくとも大前進を遂げることで。しかしそれで双方が何を得るか？日本はわずかにもせよ領土が拡張する、安倍氏は面目を保ち、外交的勝利と目される。ロシアは1956年宣言の条項が実現したところで何らの利益も得ない。両国関係にブレーキをかけているのは平和条約の欠如ではなく、相互信頼・理解の欠如だ。経済を成長させ、日本を含むあらゆる国と対等な関係を維持することで、我々は遥かに多くのものを得ることが出来る。それにロシアの世論は日本に対するいかなる領土的譲歩も支持しない。プーチン氏が絶大な支持率のもとで世論に逆らう行動に出るか、私にも疑わしい。」

極東研究所副所長のウラジーミル・ポルチャコフ教授はスポーツニクにこれと異なる見解を示した。

「ある種の動きは常にある。問題は閉じており話し合うことは何もないというグロムィコの立場と同じ状況ではない。何らかの前進は可能と思う。両国の政治家たちの強い動機を目にしている。プーチン氏も安倍氏も大きな外交的成功が必要だ。何らかの形で平和条約が結ばれば、敗者のいないウィンウィンとなる。」

最近まで日本はクリル問題と政治を結び付けてきたが、今はアクセントが経済に移っている。極東の百単位のインフラプロジェクトに日本が大規模投資する用意があるとのデータもある。具体的な話には至っていないが、総額を200億ドルとする声も。しかもそれらプロジェクトは道路や病院、

都市インフラなど、採算性では測れないような内容のものだという。

安倍首相の任期は2018年9月まで。同年ロシアでは大統領選挙がある。両リーダーにとって残された時間はそう多くはない。もっとも、両リーダーとも任期延長の可能性も残している。

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/ct9N>

### **フィリピン大統領、自分をヒトラーになぞらえたことを謝罪**

(スプートニク 2016年10月03日 20:30)

◎ AFP 2016/ TED ALJIBE <https://goo.gl/NPXS7j>

フィリピンのロドリゴ・ドゥテルテ大統領はユダヤ人共同体に謝罪した。ロイターが伝えた。

大統領はヒトラーに関する発言が世界中のユダヤ人コミュニティの間で怒りを引き起こしたことを認め、ヒトラーの名に言及したのは敵対勢力が自分をどう描いているかを示すためだったとした。

「私には600万人の殺されたユダヤ人の記憶を中傷する意図はなかった」と大統領。

大統領はナチスのリーダーに自らをなぞらえたことで多くの問題と批判を受けたと付け加え、麻薬取締に関する議論におけるホロコーストへの言及は、自分をヒトラーになぞらえた批評家らに打撃を加えるためだった、とした。

<http://sptnkne.ws/ctD8>

### **ロシアの主要鉄道が北海道まで延伸されるかもしれない**

(スプートニク 2016年10月03日 20:45)

◎ REUTERS/ Ilya Naymushin <https://goo.gl/pMz9ne>

日本でシベリア鉄道を北海道まで延伸するプロジェクトが検討されている。産経新聞が、消息筋の情報として伝えた。

シベリア鉄道は、モスクワと東シベリアの大都市ならびにロシア極東の工業都市を結ぶユーラシアを横断する鉄道で全長は9,288.2キロ。世界最長の鉄道だ。

産経新聞は、「シベリア鉄道の延伸は、アジア大陸からサハリン（樺太）間の間宮海峡（約7キ

ロ) と、サハリンから北海道・稚内間の宗谷海峡 (約 42 キロ) に橋またはトンネルを建設する構想だ」と伝えている。また産経新聞によると、シベリア鉄道が北海道まで延伸されることで、観光などが活発化することに期待されている。また産経新聞によると、「モスクワの東約 800 キロにあるカザンからウラジオストクまでのシベリア鉄道高速化構想も浮上している」という。産経新聞は、ロシアが日本に対してシベリア鉄道に関連するものを含めて 50 項目のプロジェクトを提案したと報じている。これらは現在 12 月のプーチン大統領の訪日を前に具体化されているという。

<http://sptnkne.ws/ctDH>

## フィリピン大統領対麻薬マフィア：クーデターは不可避か

(スポーツニク 2016 年 10 月 04 日 04:47)

© AFP 2016/ Ye Aung Thu <https://goo.gl/QJgAPM>

ロドリゴ・ドゥテルテ大統領に対する軍事クーデターの計画はないというフィリピン軍司令部の声明にもかかわらず、そうなる危険性は残っている。ロシアの政治学者で教授のウラジーミル・コロトフ氏がスポーツニクのインタビューで述べた。以下にその所説を紹介する。

「大統領が危険で強力な敵・麻薬マフィアに対して厳しい戦いを開始したことは、非常に大きなリスクであると思う。1 億強いるフィリピンの人口の約三分の一が麻薬中毒者だ。司法制度と国家機構が非常に深刻な汚職にむしばまれていることを念頭に、大統領は最も極端な措置をとることを余儀なくされた。麻薬の売人を調査や裁判なしで殺すよう、住民に訴えるというものだ。」

麻薬マフィアは既に収入に巨額の損失を被った。官僚組織や治安部隊における彼らの共犯らも同様だ。彼らはクーデターとなれば確実にそれに参加するだろうし、穏やかな声明とともに、自分たちでそれを計画する可能性もある。

フィリピンに米軍基地や軍事施設があるという地政学的側面を無視することもできない。米国が軍事的プレゼンスを持っている国では、それらの国の内外政策に米国が影響を与えられる可能性がある、ということは、自明の理となっている。ワシントンが自分にとって不都合な大統領を政治シーンから排除したり、しようとしたりした多くの例がある。米国は 1963 年、南ベトナムでゴ・ディン・ジエム大統領を排除し、1979 年には韓国のパク・チョンヒ大統領排除に参加し、1983 年にはイラク大統領サダム・フセインを倒し、最近ではトルコ大統領エルドアン氏を排除しようとした。

フィリピン大統領の行動は米国を含む西側の理解に適合しない。スポーツニクに対しロシアの安全保障専門家エヴゲーニイ・ミハイロフ氏が述べた。彼によると、フィリピンの大統領はほぼ制御されておらず、その行動は独立している。このような指導者はちょうど支配し独自の秩序を設置することに慣れた米国にとっての格好の標的なのだ。

「もちろん西側にはアナーキズムと犯罪が横行するような国のほうが管理しやすい。管理されたカオスというのが米国のお気に入りの戦術だ。泥水中で魚をとることは易しいというわけだ。米国がすでにフィリピンを動揺させ大統領を排除し、より太平洋における支配を強めようとする試みを既にとっているとしても驚かない。」

米国と西側諸国に対置するものとして外政においてロシアと中国への注力を強めるという大統領の声明もこの点で重要だ。10月には中国とロシアを訪れ、メドヴェージェフ首相と会う予定だと大統領は述べていた。自身の予測不可能な政策によってフィリピン経済が低評価を受けていることも意に介さないという。「評価などどうでもいい。私はフィリピンを中国人とロシア人に開く。彼らが我が国でビジネスを行えるように貿易協定を締結する」と大統領。これまで伝統的に保護主義的政策をとっていた電気通信、航空部門を外国企業に開くことを約束した。

「声明はいつも大統領がするように非常に感情的だった。今後どうなるか見てみよう。感情的な宣言に終わるか、北京やモスクワに具体的なビジネス提案やプロジェクトを持ってくるか」とコロトフ氏。

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/ctXb>

## 米国、シリアでの露米協力停止

(スプートニク 2016年10月04日 04:14)

© AFP 2016/ Bulent Kilic <https://goo.gl/tZXyVn>

米国はシリア停戦に関するロシアとの2国間協力を停止すると、米務省のジョン・カービー報道官が声明した。米務省は、米国はシリアでの停戦実現化に取り掛かるはずだった人員を呼び戻し、さらに、空中での衝突を防ぐためにロシアと軍事接触を続けていくと声明した。

<http://sptnkne.ws/ctRb>

## 核保有国間に紛争勃発：インドとパキスタンが互いに発砲

(スプートニク 2016年10月04日 03:40)

© AP Photo/ SPA <https://goo.gl/PvJDhj>

インドとパキスタンの両軍が3日、両国の係争領土であるカシミールで互いに発砲した。AP通信が報じた。インド側によると、パキスタン軍が国境上のインド兵士に対し理由もなく発砲、重火器も使用した。パキスタン軍の代表者によれば、インド側からの発砲に続き、インド兵が砲火を放

った。地域の緊張は9月、インド政府がパキスタン軍人らを軍事基地の攻撃について非難した後、高まった。なお先に伝えられたところによると、米国がシリアでの露米協力を停止した。

<http://sptnkne.ws/ctXd>

## **インドと日本、平和原子力合意への署名を準備**

(スプートニク 2016年10月04日 05:19)

© Sputnik/ <https://goo.gl/LKp7WT>

インドと日本は年内に平和的な原子力エネルギーの協力に関する協定に署名する可能性がある。政府筋の情報としてヒンドゥが伝えた。核物質の主要な供給者と生産者を結集した原子力供給グループが原子力分野でのインドとの協力を解禁した2008年の合意から準備が行われていた。昨年安倍首相がニューデリー訪問中に両国の平和的な原子力エネルギー分野での協力に関する覚書に調印がなされたが、完全な合意はまだ署名されていない。

ヒンドゥによると、署名は年内のモディ首相訪日中になされる可能性がある。日本の国会は来年初頭にもそれを承認する見込みで、そうなれば、日本の東芝が所有しているウェスチングハウスと日米GE日立ニュークリア・エナジーの参加のもと建設される予定のインドにおける2つの原子力発電所のプロジェクトを実施するために必要な法的枠組みが作られる。

合意文書への署名にとっての最大の障害の一つは、インドが核拡散防止条約や包括的核実験禁止条約の締約国ではないということだった。ゆえに日本はこれまでインドが核実験を実施するのであれば、契約は失効するとの条項を含めることを主張していた。両者がどのようにこの問題を解決する考えであるのかは不明。

先に伝えられたところ、イランは原子力エネルギー分野での日本との協力に関心を抱いており、同分野についての会談の用意がある。

<http://sptnkne.ws/ctXg>

## **ロシア、米国とのプルトニウム処分合意停止**

(スプートニク 2016年10月04日 06:06)

© 写真: Public domain <https://goo.gl/nRyT0a>

米国のロシアに対する行動を受け、ロシアは今回の行動を取った。この法令のテキストは、ロシアの憲法や法令が掲載されている法情報の公式ポータルサイトに掲載された。

「米国のロシアに対する非友好的な行動と、国際条約に則り余剰兵器プルトニウム処分について取られた義務遂行を保証する能力を米国が有さない結果による、情勢の根本的な変化と戦略的安定性への脅威が発生したことを受けて、また、ロシア連邦の安全を守るための緊急の策を取る必要に立脚し」ロシア大統領は「ロシア政府と米国政府間の、プルトニウム処分に関する合意の機能を停止すると」制定した。法令には、これに関係するのは「核兵器や他の核爆破機器製造の目的や他のあらゆる軍事的目的に使用されない」プルトニウムだと強調されている。ドミトリー・ペスコフ大統領報道官は、ロシアは1人で米国とのプルトニウム兵器処分合意を遂行してきたとし、次のように説明した。「十分長い間、ロシアは1人で合意を遂行してきたが、今、大統領令に書かれているとおり、全体的な緊張などを考慮に入れると、ロシア側はこのような状況が続けることが可能であるとは考えない」。

<http://sptnkne.ws/ctXj>

### **ロシア、米国に「感情を脇に置き」シリアの作業を続行を呼びかけ**

(スプートニク 2016年10月04日 08:19)

© Sputnik/ Andrey Stenin <https://goo.gl/Gv55Bz>

ロシア政府は米国に、感情を脇に置き、軍事線に沿ったそれを含むシリアに関する作業を続けるよう呼びかけているとセルゲイ・リャブコフ外務次官は声明し、スプートニクのインタビューで次のように述べた。「我々は一方、米国にこの感情を脇に置くよう提案している」。リャブコフ外務次官はシリアで協力するよう米国に呼びかけた。リャブコフ外務次官はテロ組織合同対策、政治プロセス再開の課題解決もまた呼びかけた。一方、リャブコフ氏は「それと同時に我々は（米国政府で）次から次に起こるヒステリーを見ている」とし、次のように強調した。

「米国政府で決定を取っている人々は、自らを駆り立てていると同時に他の人々も駆り立てており、これら全てはただシリアとシリア国民の損害にしかならない。我々は冷静に、正気で行動しており、我々のラインを放棄するわずかな根拠も我々にはない。最終的には常識が上に立つと考えている。」

<http://sptnkne.ws/ctXr>

### **首脳会談前の小さなおもてなし：長門市通住民有志、日露兵士の墓碑清掃**

(スプートニク 2016年10月04日 09:13 徳山あすか)

© Sputnik/ Michael Klimentyev <https://goo.gl/VP3Qxd>

今年12月15日に行われる日露首脳会談は、山口県長門（ながと）市で開催されることが決定している。プーチン大統領は、会場になると見られる老舗の温泉旅館「大谷山荘」で、温泉に入るの

を楽しみにしているという噂もある。その長門市の通地区・大越の浜には、日露戦争時に日本陸軍の御用船だった「常陸丸」遭難兵士の墓碑と、対馬沖海戦で命を落としたロシア兵戦没者の墓碑とが、隣同士に建っている。2日、地元住民により、これら墓碑周辺の清掃活動が行われた。

1904年6月、日本人将兵千人あまりが乗った常陸丸は、軍事輸送の際に玄界灘でロシア軍艦に砲撃されて沈没し、大多数が犠牲になった。通地区の沖合いに流れてきた戦死者の遺体は、地元住民が丁重に葬った。翌年の1905年には、対馬沖でバルチック艦隊との海戦が行われた。そのときに戦死したロシア兵の遺体はやはり海を流れ、大越の浜に打ち上げられたのだ。地元住民は、日本兵だけでなくロシア兵の遺体をも手厚く埋葬し、供養を続けてきた。

これまで、長門市老人クラブ通支部では、定期的に両墓碑の清掃活動をするのみならず、毎年6月15日に日露兵士合同慰霊祭を開催し、かつての敵・見方の区別なく、戦没者の冥福を祈ってきた。今回の清掃は、通地区発展促進協議会の呼びかけで行われたもので、最近増加している参拝者のため、墓へ続く参道の整備をしようという意味合いもあった。二基の墓がある大越の浜へ出るには、階段がなく整備されていない下り坂を降りなければならない。有志の人々は少しでも通りやすくなるようにと、草を刈ったり枝を切るなどの作業を行った。また、漂着物の回収も行った。

地域の歴史に詳しい長門市通公民館の山田功平館長は、「この地区には100年来、ロシアとの繋がりを守ってきたという事実があります。このようなお墓があつて、住民が慰霊をしてきたという事実を、皆様に知っていただければと思います。これから地区外の方が多くいらっしゃると思うので、入り口の案内板や、お墓の近くに説明書きなどもできると良いなと期待しています。プーチン大統領がお墓へ直接いらっしゃることは難しいだろう、とはありますが、ロシアの大統領が長門市へお越しになるということで、全体的に注目が集まっていると感じます。」と話している。

長門市では日露首脳会談を視野に、「長門市プロジェクトチーム」が発足し、既に第一回会合も行われた。市内の魅力を国内外に発信するため、ロシア語版観光パンフレットの製作なども検討されているということだ。

<http://sptnkne.ws/ctXq>

## **米国防長官、アジア太平洋地域での敵への軍事的サプライズを予告：脅迫か、ユートピアか？**

(スプートニク 2016年10月04日 10:10 タチヤナ・フロニ)

© REUTERS/ Yuri Gripas <https://goo.gl/ydDkWW>

米国はアジア太平洋地域に「ちょっとしたサプライズ」をもたらすべく5年間で数百億ドルを費やす。ペンタゴンのアシュトン・カーター長官が述べた。それら方策は潜在的な敵にとって非常に創造的かつ予想外であるという。

アジア太平洋地域のさらなる軍事化の計画に関する声明には既に見慣れたレトリックが使われて

いる。軍事的サプライズは「平和、安定、進歩」の名の下にのみ行われるという。スプートニクはロシアの軍事専門家らに、国防長官の声高な声明の背後にあるものについて、本当に地域に米国軍事力の近代化が起こることを予期すべきか、コメントを求めた。

ロシアの軍事専門家コンスタンチン・シフコフ氏によると長官の挙げた数字は一見威嚇的だが、実際には、5年間で400億ドルというのは別段大きな額ではない。装備の再編というのは複合的なプロセスだ。それは近代化だけでなく、新兵器の調達、開発、さらには、それらの供給をも含む。革新的な近代化やアジア太平洋地域におけるサプライズなどというものは非現実的に聞こえる。

「私は長官は実際の計画というよりはコマーシャルを打ったという印象を持っている。400億ドルでももちろん何かを行うことはできるが、超自然的なことは行えない。400億を5年で割れば年間80億。比較のために、米国の軍事予算は現在、約6,600～7,000億ドル。この中でアジア太平洋地域にサプライズをもたらすための400億という数字はどのように見えるか。これはペンタゴンの普通通りの自己満足のレトリックに過ぎない。パートナーらへの支援、利益の保護を含めてだ。数えたり、対置したりすることを知っている軍事専門家には、カーター発言は説得力がない。秘密兵器？ しかし、あらゆる新しい、超画期的な武器はかなり長期的な開発や試験を必要とし、現代においてそれを隠蔽することはほとんど不可能である」

例えば米国は20年間極超音速兵器の開発に取り組んでいる。コンスタンチン・シフコフ氏は次のように述べた。

「今回の発言からただ一つ読み取れるのは、米国が組織および技術的な性質のサプライズを実行しようとしていることだ。どこかに新しいグループまたは地上ミサイル基地を設置する。例えば地対空ミサイルシステムMC-41Iを設置し、この地上設置装置にアンチミサイルだけではなく、陸上発射式トマホークも設置するなど。これはINF条約から出ることを意味するが、米国にはこの種のサプライズが本当にあるかもしれない。しかしながら、その場合にはロシアもまた根拠を持って米国にサプライズをもたらすことができる。米国に確証破壊をもたらす「スタートゥス6」多目的兵器システムを海上に置くなどといった、現実的なサプライズを、である。」

それにもかかわらず、米国防総省の長官は、巡航ミサイル、海上誘導ミサイルトマホークの搭載量を三倍にすることにより、米国のヴァージニア級潜水艦の戦闘能力をより高める準備をすると公言した。コンスタンチン・シフコフ氏がこの情報を分析した。

「ヴァージニア級潜水艦は軽量ミサイル12発を積んでいる。彼らは32発を備えるロシアの潜水艦に追いつきたい。しかしヴァージニアが数を3倍にした場合は、その流体力学的特性が大幅に悪化し、ノイズが増加する。同艦はより脆弱になる。」

また、アシュトン・カーター長官は、ペンタゴンは、十億ドル単位の金をかけて戦略爆撃機B-21やレーダー、新世代F-35多目的戦闘機500機の購入を行う計画を発表した。しかし、そうした戦闘機の開発にはなお少なくとも5年はかかるであろう、とコンスタンチン・シフコフ氏。

長官声明で具体的に「敵」が指定されることはなかったが、専門家は、彼が中国とロシアについて話していたことに疑いはない、とする。アジア太平洋地域における創造的なサプライズという公約は希望の目標を達成することができるか。それとも単に地域に新たな緊張をもたらすポテンシャルを持っているのだろうか。軍人専門家ウラジーミル・エフセーエフ氏は語る。

「私は米国がアジア太平洋地域におけるサプライズに費やす資金は中国とロシアによって簡単に平衡させられると思う。軍事費の規模を考えれば、特に中国は。サプライズということだが、米国の開発品のすべてをロシアはよくわかっている。また、ロシアは、極超音速機や新型潜水艇の開発を含め、同種の開発を進めている。したがって、今回のレトリックはいつものように中国とロシアに圧力をかけるためのものである。しかし中国もロシアもお金を数えることができる。ペンタゴンが示した金額は米国が地域で中国を抑止する能力のほどを北京に示している。中国が同等の対抗措置をとることは疑いない。」

ただしおそらくその対抗措置はワシントンの期待の全く逆を行くだろう。カーター氏がアジア太平洋地域におけるサプライズなどという強迫的レトリックを弄したので、中国は軍事費を増大させ、地域へのプレゼンスも高めるだろう、とウラジーミル・エフセーエフ氏。

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部との立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/ctXt>

## ロシア嫌いは不治の病？

(スプートニク 2016年10月04日 11:20)

◎ Sputnik/ Kirill Kallinikov <https://goo.gl/6s6FTC>

西側で、ロシア人は「悪い奴ら」だと一般的に認められているのは事実だ。政治指導者、そしてメディアも彼らと一緒に常々このことに言及している。西側はロシアに対するネガティブな偏見に陥っている。

スイスの歴史家で、スイス・ロシア商工会議所会頭のギー・メタン氏の著書「ロシア嫌い、不信の千年 (Russofobia, mille anni di diffidenza)」では、西側のロシア嫌いについて述べてられている。「ロシア嫌い、不信の千年」は、スイス、ロシア、イタリアで発売され、米国では2016年に出版する準備が進められており、2017年にはセルビア語と中国語での出版が予定されており、さらにスウェーデン語でも出版される可能性がある。著者のギー・メタン氏は、「スプートニク」のインタビューで、「ロシア嫌い、不信の千年」の出版について、次のように語った—

「もしかしたら逆説的に見えるかもしれないが、ロシア嫌いは、ロシア自体よりも古くから存在していた！ これは800年にカール大帝が築いた西ローマ帝国とコンスタンティノープルの東ローマ帝国、すなわちカトリック教会と正教会の政治的・宗教的な対立から始まった。

当時、主に2つの偏見が存在していた。それは東方民族は野蛮であり、そして彼らの主権者たちは暴君で、領土などの拡張主義や、領土などの強制的な略奪への欲求は彼ら特有のものであり、彼らは攻撃的、そして無実で気高い西側に勝つことを夢見ているだけだ！というものだった。これは今我々が反ロシア・メディアに見ているのと同じステレオタイプだ。

ロシア嫌いの現段階は、ルイ⑮世の秘密機関が偽物の『ピョートル大帝の遺言状』を作成した8世紀末にフランスで始まった。この偽物の「ピョートル大帝の遺言状」では、皇帝が自分の後継者たちに欧州と戦うよう遺言した。ナポレオンは、自身のロシア侵攻を正当化するために、この遺言状を1812年に公開した。英国人は文書を翻訳し、1853年のクリミア戦争で使った。この『遺言状』が偽物であると認められたのは、フランス人と英国人のロシア嫌いが数十年続いた後の19世紀末になってからのことだった。

これら全ては現代にも当てはまっている。米国人はロシアを非難するためにこれと同じ手法を2014年2月にウクライナで使った。ウクライナの合法政府打倒を助けたクーデターが米国によって準備され、資金提供されたことは、ヴィクトリア・ヌーランド氏が議会を前に認めた。」

<http://sptnkne.ws/ctXx>

#### **岸田外相：日本はロシアとの平和条約交渉について米国に知らせる**

(スプートニク 2016年10月04日 15:06)

◎ Sputnik/ Grigoriy Sisoev <https://goo.gl/jVNnvW>

日本の当局は平和条約締結に関するロシアとの交渉の進捗についてワシントンに通知する。東京での記者会見で岸田外相が述べた。「我々は米国側と常に連絡を取り合っており（ロシアとの平和条約締結の問題について）彼らとの理解を達成している。我々は日本側の行動について報告し続ける」と外相。先に衆院予算員会で安倍首相は、「日ロ交渉のいちいちすべてを米国と協議することはないが、基本的な考え方について米国と話すことは当然、同盟国として行わなければいけない」と語った。

<http://sptnkne.ws/cub8>

#### **WADA文書、第6部が公開される。選手のリストには日本の五輪チャンピオンも**

(スプートニク 2016年10月04日 15:42)

◎ Sputnik/ Grigoriy Sisoev <https://goo.gl/NwSJCH>

世界アンチ・ドーピング機構（WADA）がハッカー集団ファンシーベアーズが公開したアンチ・ドーピングシステムADAMSの文書の第6部が真正なものであることを認めた。WADAホーム

ページで発表された。

WADAによれば、WADAは今後ADAMSがハッキングされることがないように国際的な法務機関と緊密に協力しているという。

公開されたデータによると、14カ国の20選手が治療のためのドーピングの処方許可されていた。中にはリオ五輪の水泳で金メダルの金藤理絵、トライアスロン2冠の英国人アリスター・ブラウンリー、水泳五輪2冠のオーストラリアのエミリー・シーボームの各選手の名がある。

先に伝えられたところでは、WADAはハッカーらがネットに掲載した文書を本物と認定した。

<http://sptnkne.ws/cubD>

### **ロシア、国連安保理にテロリズムのイデオロギーとの闘いに関する決議案を提出**

(スプートニク 2016年10月04日 16:33)

◎ AFP 2016/ Kena Betancur <https://goo.gl/mzNtKK>

ロシアは国連安全保障理事会にテロリズムや暴力的な過激主義のイデオロギーとの闘いに関する決議案を提出した。ロシアのヴィタリー・チュルキン国連大使が述べた。インターファクスが伝えた。大使は安保理の支持と早期採択への期待を示した。

「文案策定に際してはテロ教唆との闘いに関する第1624号決議に主に依拠した。テロリズムの公けな正当化や過激主義およびテロリズムの性格をもつ資料の拡散にインターネットを使うことへの闘いに力点が置かれている」という。

ロシアは10月1日より国連安全保障理事会の議長となった。

<http://sptnkne.ws/cubP>

### **ウィキリークス：クリントン氏はドローンを使ってアサンジ氏を排除したかった**

(スプートニク 2016年10月04日 16:49)

◎ REUTERS/ Carlos Barria <https://goo.gl/Mrq3xI>

まもなく10周年を迎えるウィキリークスがこの間公開された情報に関する統計データを発表。その中には真にセンセーショナルなものもある。ウィキリークス管理部によれば、ヒラリー・クリントン氏にはジュリアン・アサンジを排除する計画があった。

それによると、2010年11月、クリントン氏は米国当局と会談し、ワシントン州を妨害するポータルを問題化した。クリントン氏はその際、仲間らに、単純にドローンによってアサンジ氏を「除去する」ことは出来ないのかと尋ねたという。

彼女はまた、彼に米国領土で安穏と生きさせ、歩き回らせるには及ばない、と述べた。現在これらのデータは検証が不可能になっているが、記者会見の中でクリントン氏の選対本部の代表はこの情報についてのコメントを拒否、ドナルド・トランプ氏に話題を移した。

先に伝えられたところでは、ヒラリー・クリントン氏は国務長官時代にロシアで機密文書を忘れてしまった。

<http://sptnkne.ws/cubV>

### **露日外務次官級の戦略対話、3年ぶりにモスクワで開催**

(スプートニク 2016年10月04日 17:08)

◎ AFP 2016/ Byambasuren Byamba-Ochir <https://goo.gl/1RfUow>

2013年2月以来となる露日外務次官級の戦略対話がモスクワで来週半ばに開催される。政府筋の情報として読売新聞が伝えた。

ロシア代表団を率いるのはウラジミール・チトフ第一外務次官、日本側は杉山晋輔次官。会談では平和条約締結、経済協力推進が話し合われる見込みで、特にロシア大統領の12月訪日について重点的に討議がなされる。

同紙によれば、これに続き岸田外相および世耕経済産業及びロシア経済分野協力担当大臣がモスクワを訪れる。

<http://sptnkne.ws/cucf>

### **米国、ロシア艦隊の最も危険な兵器を特定**

(スプートニク 2016年10月04日 17:44)

◎ Sputnik/ Vitaliy Ankov <https://goo.gl/7BGmlD>

米ロードアイランド州ニューポートの海軍大に2016年9月開設されたロシア海洋ポテンシャル研究所長マイケル・ピーターセン氏がロシア海軍のもつシステムの中で最も危険なものを特定した。イズヴェスチアが伝えた。

新設の分析センターは米国とNATOの利益のためにロシア海軍に関する情報を収集し、加工する。ピーターセン氏によると、ロシアの海軍艦隊は慎重な研究に値する。艦隊は質的に新しい発展レベルに至った。

ロシア海軍で最も危ないのは潜水艦「ヤーセニ」、プロジェクト 22350 フリゲート艦「アドミラル・ゴルシコフ」、ロケット「ツィルコン」と「カリブル」だという。ロシア海軍の潜水艦は主に防衛的だが、原潜「ヤーセニ」は憂慮を呼ぶ。この強力かつ危険な潜水艦を開発した際の課題が不明なのだ。

「この数十年前の困難にもかかわらず、ロシア海軍の人材の育成度と技術的ポテンシャルは、世界のどの艦隊にも対抗できるほどのレベルに達している」と専門家。

先に伝えられたところでは、ナショナル・インタレストがロシアと米国の原子力潜水艦を比較した。

<http://sptnkne.ws/cucG>

## 外国人、サウジアラビアから出国するために支払いが必要

(スプートニク 2016年10月04日 19:10)

◎ REUTERS/ Faisal Al Nasser <https://goo.gl/g9iRbI>

サウジ当局はビザの手数料を増大させ、新たな税を導入した。ガルフニュースによると、経済多様化のための決定。今後サウジを訪問する外国人は200サウジリヤル(約53ドル)を支払う必要がある。2カ月のシングルビザの料金はこの10倍以上で、530ドル。以降は1月増えるごとに26ドル増える。ただし、初めて入国する巡礼者は税を免除される。2016年のサウジアラビアの国家歳入の73%が原油販売代金から形成される。2015年は89%だった。税の引き上げは原油価格の長期的下落を受けての対策になる。

先に伝えられたところでは、サウジアラビアは原油減産の条件述べた。

<http://sptnkne.ws/cumH>

## 英ポンド、31年ぶりの安値に

(スプートニク 2016年10月04日 20:02)

◎ AFP 2016/ BEN STANSALL <https://goo.gl/hrx8af>

英ポンドが下落、31年ぶりの安値をつけた。グローバル・マーケットの専門家ジェイミー・チザ

ム氏の言葉をフィナンシャル・タイムズ紙が伝えた。日本時間 16 時 42 分、ポンドは 0.5% 値下がりし 1985 年以来最低の数字である 1.27 ドルとなった。

ブルームバーグによると、これは Brexit で英国に深刻な影響が出るという投資家の懸念を反映している。先の報道ではテレサ・メイ首相は英国が 2017 年の第一四半期に EU からの撤退を開始することを発表した後、ポンドは 31 の主要通貨のうち 30 に対して下落した。

英国が国民投票で EU 離脱を決めた 6 月 23 日以来ポンドはドルに対して 14% 下落し、1984 年以来最悪の四半期を終えた。また、英 FTSE 100 指数の下落も市場における下落傾向に影響を与えている。

経済の関連ニュースはこちら。 <https://goo.gl/bw2lht>

<http://sptnkne.ws/cugN>

## 韓国、TAURUS ミサイル 90 発を追加購入する計画

(スプートニク 2016 年 10 月 04 日 20:11)

◦ AFP 2016/ Yonhap <https://goo.gl/3YTY2o>

韓国は北朝鮮による最近の核実験および弾道ミサイル実験に関連してドイツの空対地巡航ミサイル TAURUS/KEPD 350/150 を 90 発購入する予定。聯合ニュースが国防省の情報を伝えた。「軍当局は TAURUS ミサイル 90 発を追加購入することを決めた。対核・対ミサイル能力の向上のためだ。すでに購入は実施の段階にある」とのこと。先に韓国に同ミサイル 170 発が装備されるとの情報があった。これが 260 になるという形。韓国空軍はアジアで初めて飛距離 500 km の巡航ミサイルを備える国となる。ミサイルは高精度で敵の重点守備地を攻撃するためのもの。自動で捕捉、追尾、攻撃し、深さ 6 m の壕を突破できる。また、軍は北朝鮮の可動式ミサイル発射装置を破壊するため手動高精度爆弾 SDB-II の取得も検討している。

先に伝えられたところでは、韓国は THAAD ミサイルをゴルフ場に配備する見込みだった。

<http://sptnkne.ws/cugs>

## メディア、米国が軍艦や潜水艦からの核廃棄物をどこに保存するかを明らかに

(スプートニク 2016 年 10 月 05 日 02:34)

◦ AP Photo/ Juan Carlos Llorca <https://goo.gl/nXtfxg>

米国エネルギー省及び海軍は潜水艦や軍艦からの使用済み核燃料の貯蔵のためにアイダホ州に施

設を建設する。AP通信が報じた。

建設費は16億ドルと見積もられている。施設は面積2,300平方キロメートル。現時点でそこには59年以上にわたり米国の軍艦から核廃棄物を受け取っているアイダホ国立研究所がある。

旧施設が耐用年数を過ぎていて新しい施設が必要という。また旧施設はジェラルド・R・フォードなど新しいタイプの軍艦からの廃棄物を受け入れることができない。アイダホ州の既存の設備を使用する可能性もあるがいずれにしろ再整備が求められる見込みという。

先に、日本は、福島第1原子力発電所の廃炉に必要な溶け落ちた核燃料の取出しなどの技術開発で米国とフランスと連携する、と報じられた。

<http://sptnkne.ws/cu4z>

## シリア情勢が露日平和条約交渉に影響を与える？

(スプートニク 2016年10月04日 20:32)

© Sputnik/ Mikhail Voskresenskiy <https://goo.gl/HTn1j8>

シリアの停戦を維持するためのモスクワとの対話を中断するというワシントンの決定に関連した米国とロシアの間の関係の状況は、露日の平和条約には影響しない。野上浩太郎内閣官房副長官が述べた。「露米関係の現状が平和条約交渉に影響を与えることになるとは思わない」と副長官。あわせて、東京はシリア情勢の発展を懸念していると述べた。

「人道状況を改善することが重要であり、そのためにあなたは停戦と、よりより人道支援のアクセスを確保することが必要だ」「国際社会はシリアへの人道支援を進めるべきで、そのためにあらゆる努力をしなければならない。日本もこの方向で動いていく」と副長官。

<http://sptnkne.ws/cu43>

## カリフォルニア 大規模地震の可能性高まる

(スプートニク 2016年10月04日 21:06)

© AP Photo/ Rodrigo Abd <https://goo.gl/CMuzEp>

地球物理学者らは、カリフォルニアに強い地震が発生するリスクが急激に高まったと予想している。新聞 Los Angeles Times が報じた。先週、地震学者らは、マグニチュード4.3以下の複数の弱い揺れを観測した。こうした揺れは、ほぼ一昼夜続いた。揺れが観測された場所は、全部で200を数えた。

専門家らによれば、揺れが、サンアンドレアス断層の活性化を促す可能性があるとのことだ。この地域では、150年から200年ごとに大地震が発生している。地球物理学者らは、そうした地震が起きる時が来たと見ている。米地質調査所（USGS）のデータでは、先週、マグニチュード7以上の地震が発生する危険は1%だった。

専門家は、これまで幾度となく、カリフォルニアで大地震が起きる可能性が高いことを警告してきた。この地域が最も破壊的な地震に見舞われたのは、1812年のことで、当時サンフアンキャピストラーノ周辺は壊滅的な被害を受けた。

<http://sptnkne.ws/cuws>

### 大統領選挙に関するものばかりではない

(スプートニク 2016年10月04日 21:49)

© Flickr/ Chris Wieland <https://goo.gl/AdKAXF>

内部告発サイト「ウィキリークス」は、今年末までに、3つの国の政府に関するものも含め、重要な文書を公開する。4日、サイト開設10周年にちなんだ記者会見で、創設者のジュリアン・アサンジ氏が述べた。またアサンジ氏は、米大統領選挙に関する文書を大量に公開すると伝え「これから2か月半の間、文書は毎週公開されるだろう」と指摘した。

なおアサンジ氏は、ウィキリークスが創設以来これまで、1千万件以上もの文書を公開してきたことに注意を促した。さらにウィキリークスとロシアがつながっているのではないかとの質問に対し、アサンジ氏は、怒りをあらわに否定し「そうした意見は、ばかげたものだ」と指摘した。

先に伝えられたところによると、米国自由人権協会はオバマ大統領に対し、元米国家安全保障局（NSA）のエージェント、エドワード・スノーデン氏の恩赦を求める署名活動を開始した。

<http://sptnkne.ws/cu2u>

### クリル諸島、14の知られざる事実（写真）

(スプートニク 2016年10月04日 22:50)

© Sputnik/ Ekaterina Chesnokova <https://goo.gl/7J24kf>

クリル諸島（日本の主張する北方領土）は時に議題に現れながらも、すでに数十年にもわたって未解決のままの問題。クリル諸島とはいったい何か？ ロシアと日本はなぜ島をめぐるこんなに激しくやりあうのか？ ポータル・ライブに掲載されたクリル諸島についての最も興味深い事実をご紹介します。

## クリル諸島の観光

- 1) クリル諸島を訪れるには特別な許可を得なければならない。なぜなら島は国境地帯に位置しているからだ。許可はサハリンの州都ユジノサハリンスクのロシア連邦保安庁国境警備課で取得する。
- 2) クリル諸島を周るコースをたてるのは結構難しい。島の数は全部で 56。そのうち一番有名なのがクナシル（国後）島とイトゥルップ（択捉）島。この 2 島にたどり着く方法はわずか 2 通りでそのいずれもが簡単ではない。一番簡単な方法は飛行機。ユジノサハリンスクからイトゥルップ島のクリリスクに飛ぶか、またはユジノサハリンスクからクナシル島のユジノクリリスクに飛ぶ。ところがチケットはすぐに売り切れてしまうため、その購入は数ヶ月前に行っておかねばならない。
- 3) クリル諸島では大陸部に帰ろうとしても 1 週間、時に数週間も足止めをくうことは普通。悪天候でフェリーも出ない、飛行機も飛ばないということはざらにある。
- 4) クリル諸島では悪天候のほうが多い。しかも天気の変わり方が激しい。クナシル島のユジノクリリスクでは雨が降っていても、そこから 13 キロ離れた場所では陽がさんさんと降り注ぎ、そうかと思えばまた雨が降り、そこから 17 キロ離ればまたお天気ということはよくある。
- 5) クリル諸島で宿泊できるホテルはわずか 5 箇所。クナシル島にある「アイスベルグ」ホテル（3 部屋）、「ヴォストーク」ホテル（11 部屋）、「フラグマン」ホテル（7 部屋）とイトゥルップ島にある「オーストロフ」ホテル（11 部屋）、「イトゥルップ」ホテル（38 部屋）の合計 70 部屋。1 泊のお値段はダブルでおよそ 3,000 ルーブル（4,800 円）。

◎ Sputnik/ Ekaterina Chesnokova クリル諸島 <https://goo.gl/0sSo9w>

## クリル諸島と日本

- 6) クナシル島には日本軍の左足の軍靴を保管していた倉庫跡が残されている。なぜ両足ではなく、左足なのかといえば、日本軍は盗難を恐れて右と左の軍靴を別々の場所に保管していたからだ。別の場所に保管してあれば、敵が倉庫を見つけても中身を利用することはできない。

## クリル諸島の自然

- 7) クリル諸島といえば真っ先に頭に浮かぶのが火山。諸島にはあわせて 160 ほどの火山があり、そのうち 40 箇所が活火山。

◎ Sputnik/ Aleksey Nikolskyi クリル諸島 <https://goo.gl/a7g7sx>

- 8) またクリル諸島は稀有な動植物相で知られている。クリル諸島では道路わきには下草の代わりに笹や竹が生え、モミの脇に桑や木蓮が生えている。クリル諸島の竹は高さ 3.5 メートルにも達する。このほかいたるところにコケモモ、ブルーベリーなど多種多様なベリーが生えている。
- 9) クリル諸島では熊に遭遇することは日常茶飯事。一番人口（熊口）密度が高いのはクナシル島のチャチ火山付近。
- 10) クリル諸島は珍しい猫種のクリル・アイランド・ボブテイルの発祥の地。この猫種は 20 世紀、大陸部にもたらされた。特徴は短く球状の尾。

### クリル諸島の暮らし

- 11) クリル諸島の人たちはほぼ全員が自動車を所有しており、そのほとんどが日本製のジープ。ところが島にはガソリンスタンドが 1 軒もない。住民はサハリンのユジノサハリンスクや大陸のウラジオストクからガソリンを樽で買っている。ようやく今年になってイトゥルプ島政権は初のガソリンスタンドの開設を約束した。
- 12) クリル諸島では建物はみな 2 階建てから 3 階建て。5 階建てはここではもう高層建築。これはすべて諸島が地震の頻発する地帯に位置しているため。

◎ Sputnik/ Ekaterina Chesnokova クリル諸島 <https://goo.gl/kQ9ha1>

- 13) クリル諸島はカテゴリーでは「北方」地域に振り分けられているため、国の定める有給休暇期間も日照時間の少ない「北方」で必要とされる 62 日間（例、モスクワでは 28 日間）。このほか南クリル諸島（イトゥルプ、クナシル、シコタン、ハボマイ）の住民にはビザなし交流で日本を訪れる機会がある。
- 14) クリル諸島の住民の気質はオープンで優しい。島を訪れる観光客の誰もがそう語る。観光客だとわかるとどこから来たのか、どんな暮らしなのかとたずねられ、風光明媚な場所を教えられ、時には手をとってそこまで連れて行ってくれる。

<http://sptnkne.ws/cu4V>

**「メルケルはシベリアへ！ プーチンはベルリンへ！」ドイツ統一の日の集会で市民叫ぶ（動画）**  
（スポーツニク 2016 年 10 月 05 日 00:00）

◎ AP Photo/ Michael Sohn <https://goo.gl/AWyR6P>

新聞ビルトによれば、ドレスデン（ドイツ東部）でのドイツ統一の日を祝う催しに集まった人達は、出席した来賓の政治家達にブーイングを浴びせ、祖国の裏切り者と呼んだ。

動画 <https://youtu.be/NCHn5V1xrYM>

催しには、ガウク大統領の他、憲法裁判所のヴォスクレ裁判長、さらにはドイツ連邦を形成する様々の州の首相らが出席していた。

群衆は「メルケルはシベリアへ！プーチンはベルリンへ！」と叫び、出席した政治家達に対しては「ここから出て行け」との罵声を浴びせた。

なお前日、ドレスデンに集まったデモ隊は、祝賀行事のためこの町に到着したメルケル首相を激しく批判した。

先に伝えられたところによると、独ベルリンで市議会選挙が行われ、「社会民主党」が勝利し、メルケル首相の「キリスト教民主同盟」は第2党にとどまった。

<http://sptnkne.ws/cupq>

## 日本クルド友好協会が慈善キャンペーンを実施

(スプートニク 2016年10月05日 07:58)

◎ REUTERS/ Rodi Said <https://goo.gl/yKDcVk>

日本クルド友好協会はクルド人の子どもたちの描いた絵を販売するチャリティーキャンペーンを行っている。この子たちはイラク領内のクルディスタン地域にある難民キャンプに暮らしている。9月22日、このキャンペーンへの個人的な参加を呼びかける書簡がG20諸国の指導者らに送られた。この中には日本の安倍首相、ロシアのプーチン大統領も含まれている。

オークションの目的は戦争のために難民となり、イラク内のクルディスタン地域に暮らすシリアおよびイラク出身の児童、成人への支援。G20諸国の指導者らに送付された書簡には「この子達は私たちの次の世代です。ところが子どもたちは家族を失い、社会からはじき出されて大きなトラウマをおっています」と書かれた。

チャリティーキャンペーン「ピクス・ドネーション」<https://goo.gl/PeCjeV>に参加した児童数はおよそ700人。イラクのクルディスタン地域のダフク、エルビリ、スレイマニア諸都市の周辺に設置された5箇所の難民キャンプに暮らす子たちだ。チャリティーキャンペーンを組織するひとり、チョラク・ワッカス氏はスプートニクに対して、「キャンプには家族と一緒に暮らす子もいれば、家族を失った子、家族をダーイシュ（IS、イスラム国）の人質に取られてしまった子たちもいます」と語っている。

チャリティーキャンペーンの組織側はオークションの収益金を基に農業プロジェクトを立ち上げるか、もしくはパン製造工場を開くことができると期待を寄せている。パン製造工場は収入をも

たらずだけではない。これによって子どもも大人も農業に従事することを習得できるからだ。

子どもたちが絵を描いたのは2016年2～3月。最初の1枚は9月7日に売却された。オークションは最後の1枚が売れるまで続けられる。

国連難民高等弁務官事務所の調べでは2016年8月31日現在、イラク領内クルディスタン地域に暮らすシリア、イラクからの難民の数は24万人。この全員が支援を必要としている。

2015年末時点で移動を強いられた人の数は6,530万人、難民の数は2,130万人に上った。

<http://sptnkne.ws/cu4Y>

### **露日ビジネス協議会、経団連との協力協定を締結**

(スプートニク 2016年10月05日 08:05)

◎ Fotolia/ peshkov <https://goo.gl/UH3FRt>

露日ビジネス協議会は日本経済団体連合会（経団連）との協力協定を締結した。露日ビジネス協議会はロシアの主要な業界団体の主導で2年弱前に設立。ロシアNIS貿易会（ROTOBO）や日本貿易振興機構（JETRO）などの日本企業の代表機関と積極的に協力を行っている。

<http://sptnkne.ws/cu3F>

### **英国防相「EUに独自の軍隊が現れることはNATO弱体化につながる」**

(スプートニク 2016年10月05日 09:04)

◎ AFP 2016/ <https://goo.gl/rh19HA>

英国のファロン国防相は、バーミンガムで開かれた英保守党会議で演説し「英国は、EUに独自の軍隊が生じることに反対だ、なぜならNATOが弱体化するからだ」と述べた。ファロン国防相は「我々は、EU軍の創設を阻むだろう。それは単に、NATO軍を台無しにするばかりだからだ」と指摘している。またファロン国防相は、英国がNATOに対し忠実であることを改めて強調し「英国は自国のGDPの2%を今後もNATOに拠出し続けるだろう」と確認した。なおファロン国防相は、NATOと国際社会全体は、できるだけ効果的に現存する脅威の数々に対応しなければならないと述べる中で、ロシアの政策についても脅威の中に入れて語った。

<http://sptnkne.ws/cu5a>

## イラク、9.11 法を逆手に米国の軍事侵攻を訴えへ

(スプートニク 2016年10月05日 10:22)

© AP Photo/ Khalid Mohammed <https://goo.gl/s7N9LK>

9月28日、米議会はオバマ大統領の拒否権を覆し、2001年9月11日の同時多発テロの犠牲者の遺族がサウジアラビアを訴えることを許す法案を採択した。

これを受けて今度はイラクの活動家グループが2003年に米国が行ったイラク軍事侵攻の補償を求める構えを示している。

イラクの活動家らはテレビ「アルアラビヤ」に出演した中で、イラク議会が米国に対し、米軍がフセイン政権を覆した際の軍事侵攻で犯した違反をめぐって補償を求める可能性があることを明らかにした。

この活動家らは、米国民が9.11法に従い個人および諸外国に補償を要求する権利を得たのであれば、同様にイラク国民も同じ権利を主張できるはずと語っている。

活動家グループは「イラク市民の殺害、私有財産の喪失ほか、米軍側から行われたイラク市民の拷問や権利侵害について詳細な捜査」を行うよう呼びかけている。

米国では9月28日の法案採択後、同時多発テロで夫を殺害されたステファニー・ロス・デシモンさんがすでにサウジアラビア相手に訴えを起こしている。

<http://sptnkne.ws/cu5b>

## ロシア アフリカでの演習に初めて軍事装備及び空挺部隊を派遣

(スプートニク 2016年10月05日 11:17)

© Sputnik/ Iliya Pitalev <https://goo.gl/vvvM8J>

ロシア航空宇宙軍は、イリューシン76型機を使い、空挺部隊と軍事装備を、エジプト軍との合同演習が行われるアフリカに送る。ロシア国防省情報コミュニケーション局が伝えた。

それによれば「ロシア航空宇宙軍のイリューシン76型軍事輸送機が初めて、ロシアの空挺部隊員と軍事装備をアフリカに、機動的体制で運ぶことになる。エジプトの乾燥地帯への空挺隊員の大規模派遣は、今回が初めてで、エジプトでの合同演習準備の枠内で実施されるものだ」。

なお空挺部隊等の演習実施地区への派遣は、今月予定されている。

先に伝えられたところによると、ロシア国防省は、戦車部隊の活動に関する最も見応えのある貴重な動画を公開した。

<http://sptnkne.ws/cu5e>

### **ロシアの海洋水族館に日本からエキゾチックな魚達 4 千匹到着**

(スプートニク 2016 年 10 月 05 日 12:29)

© Sputnik/ Valeria Kuzora <https://goo.gl/HMj1h6>

ほぼ 50 種 4 千匹の魚達が、沖縄及び鹿児島県から、ロシア極東沿海地方ウラジオストク・ルースキー島にある海洋水族館に、船で届けられた。4 日、水族館報道部が伝えた。

特に水族館には、沿海地方では緯度的に珍しいサメやエイのほか、南日本海域に生息する美しくエキゾチックな魚の数々が運ばれてきた。なおすべての魚は、天然のもので、海から直接採取された。

ウラジオストクのルースキー島にある海洋水族館は、9 月初めに一般オープンしたばかりだ。展示館の建物は、貝殻をイメージして建てられており、総面積は約 3 万 5 千平方メートル、水槽の総容積は約 2 万 5 千トンである。

先に伝えられたところによると、クロアチアのロヴィニに近いアドリア海で、重さ 340 キロのマグロが釣れた。

<http://sptnkne.ws/cu6D>

### **近いうちにも極東と日本の間を大型旅客機が飛ぶ**

(スプートニク 2016 年 10 月 05 日 13:24)

© Sputnik/ Alexei Kudenko <https://goo.gl/UGu7Mz>

最大定員 170 人の「ボーイング 737-800」が、2017 年プログラム・チャーター 期間中に、カムチャツカ〜日本間を運行する。カムチャツカ地方観光・対外関係局が「スプートニク」に伝えた。

カムチャツカ〜日本間のプログラム・チャーターは 2011 年にスタートした。旅行シーズンがピークを迎える 7 月から 8 月の時期に週に数回運行している。

カムチャツカ地方観光・対外関係局の代表者は、次のように語った—

「2016年には最大定員100人の航空機「スホイ・スーパージェット100」が、ペトロパヴロフスク・カムチャツキー―東京のルートを運行した。カムチャツカを訪れることを望む日本人観光客全員を収容するためには100人では席が足りなかった。来年プログラムの枠内で運行を実施する航空会社は、これまでよりも収容人数の多い『ボーイング737-800』を使用する計画だ」と述べた。

現在のところ、プログラムの開始は7月14日に予定されている。日本は観光市場におけるカムチャツカの主な外国パートナーの一つで、2015年には日本人観光客およそ1,400人がカムチャツカを訪れた。

先に伝えられたところによると、国際スキー遠征の参加者たちが、カムチャツカ半島にあるスレジンヌイ山脈のオーストヤラ山に登頂した。

<http://sptnkne.ws/cu5J>

### **脱北者が北京で亡命申請、希望は日本へ**

(スプートニク 2016年10月05日 15:09)

◎ AP Photo/ Wong Maye-E <https://goo.gl/UmDtcc>

朝鮮民主主義人民共和国の北京代表部の幹部2人が9月下旬に日本への亡命を求めている。韓国の中央日報が消息筋の情報として報じた。菅官房長官はこの報道を受けて開いた5日の記者会見でこうした事実を否定。中央日報の報道によれば、脱北者のひとは金正恩氏の健康管理にからむ医薬品、医療機器の調達を担当。これより以前、韓国の朝鮮日報も匿名の情報として同様に9月下旬、2人の脱北者が日本に亡命を求め、その身柄について日中間で協議が行なわれていると報じていた。2人の現在の居所については明らかにされていない。北朝鮮の高官が亡命を求めた例はこれが初めてではない。つい最近も8月、ロンドンから姿を消した北朝鮮高官が韓国に亡命を求めたニュースが報道されたばかり。

<http://sptnkne.ws/cu7r>

### **スノーデン氏、Yahoo アカウントは直ちに削除せよ！**

(スプートニク 2016年10月05日 16:48)

◎ 写真: Screenshot: Council of Europe <https://goo.gl/BLVtpo>

米中央情報局および国家安全保障局の元職員のエドワード・スノーデン氏は、Yahooがユーザーの追跡を行なっているとのマスコミ情報を受けて声明を表し、Yahooユーザーはただちにアカウントを削除するよう呼びかけた。

「Yahoo をお使いですか？ Yahoo は秘密裏にあなたが昔書いた内容を全部スキャンしてしまいましたよ。これは法の枠組みを超える行為です。今日にもアカウントを削除してください。」スノーデン氏は自身のツイッターでこう書いている。

twitter.com/ <https://twitter.com/Snowden/status/783368287338004480>

これより前ロイター通信は、Yahoo は 2015 年米特務機関の要請を重んじ、自社メールのユーザーのあらゆる受信メールを閲覧するためのソフトを開発したと報じていた。

<http://sptnkne.ws/cu8V>

### **トランプ氏、ロシアは米政権を「尊重していない」**

(スプートニク 2016 年 10 月 05 日 17:03)

© REUTERS/ Jonathan Ernst <https://goo.gl/18ksxz>

米共和党推薦のドナルド・トランプ米大統領候補は、ロシアがシリア正常化について先に米国と結んだ合意内容に違反したとの独自の見解を示した。

4 日、ロシア国防省は、米国がシリア停戦に関する全ての合意事項を破り、テロリストらに再編成および武器弾薬の補充を行なう隙を与えたとしてこれを非難する声明を表していた。

これを受けてトランプ氏はアリゾナ州の支援者を前にした演説で「ロシアが合意に違反したのだ。それに彼らは現在も大砲を撃ち、爆撃を行っている。こうしたことは止めねばならない。迅速に止めねばならない」と語った。ロイター通信が演説を引用して報じた。

トランプ氏はこうした行為はロシアが米国指導部を「一切尊重していない」証拠だと語っている。

<http://sptnkne.ws/cu9x>

### **ロシア国防省、シリアへの S-300 供給の目的を明らかに**

(スプートニク 2016 年 10 月 05 日 17:57)

© Sputnik/ Kirill Kallinikov <https://goo.gl/xxs4cN>

ロシア国防省はシリアに対して長距離地对空ミサイル S-300 用のバッテリーを供給したことを明らかにした。これより前、テレビ「フォックス・ニュース」は米国政権内の消息筋からの情報として、ロシアがシリアに最新の対空ミサイル S-300VM (NATO のコードネームで SA-23 グラジエーター) を配備したと報じていた。こうしたシステムは米軍の軍用機および巡航ミサイルの迎撃も可能。

S-300 の課題についてロシア国防省のコナシェンコフ報道官は、シリアのタルトゥス海軍基地およびその近海に作戦配備されたロシア海軍の軍艦の安全を空から確保することと説明している。S-300 のシリア配備に西側が過敏な反応を見せたことについてコナシェンコフ報道官は、S-300 の用途は防衛に限定したものであり、誰にも何の危害も及ぼさないと繰り返している。

コナシェンコフ報道官は「しかもこの地域には以前も海上に同種のシステム『フォルト』複合体が配備されていたことがあった。これに黒海艦隊のミサイル巡洋艦『モスクワ』にも搭載されている複合体だ」と補足している。

先に伝えられたところでは、米国はシリア停戦に関するロシアとの 2 国間協力を停止すると、米国防省のジョン・カービー報道官が声明した。

<http://sptnkne.ws/cuA4>

### **米国がシリア軍への空爆を検討開始、ワシントンポスト紙**

(スプートニク 2016 年 10 月 05 日 18:08)

◎ REUTERS/ Abdalrhman Ismail <https://goo.gl/eLdgcP>

米国政権はシリア紛争への軍事介入の可能性を検討している。ワシントンポスト紙が報じた。同紙の報道によれば、先週ホワイトハウスでは国防省、CIA、米国統合参謀本部の代表者らと交えた会合が行われ、シリア政権側の陣地へ空爆を行なう問題が話し合われている。この問題の討議はおそらくオバマ大統領が率いる米国安全保障会議の会合に持ち越されるものと見られている。会合は今週末にも開かれる可能性がある。討議に参加したひとは案として、シリア空軍の滑走路に巡航ミサイルおよび他の長距離的な手段で空爆を行なうことが検討されたほか、国連安保理の承認を回避してシリア体制の陣地に攻撃を行うことへの米大統領府の反対をかわすため、作戦を秘密裏に行う提案も挙げられたと話している。

先に伝えられたところでは、米国はシリア停戦に関するロシアとの 2 国間協力を停止すると、米国防省のジョン・カービー報道官が声明した。

<http://sptnkne.ws/cuAK>

### **露外務省、日本との平和条約発展の条件を語る**

(スプートニク 2016 年 10 月 05 日 18:42)

◎ Sputnik/ Sergey Pyatakov <https://goo.gl/FCYABn>

ロシア外務省のマリア・ザハロワ報道官が、南クリルは第 2 次世界大戦の結果ロシアに属するも

ので、南クリルに対するロシアの主権は疑問視できないとの、ロシア政府の立場を改めて強調した。ザハロフ報道官は、ロシアが日本の領土の要求の満たす可能性があるかとのマスコミの質問に答え、次のように強調した。

「平和条約締結問題解決進展における不可避の条件は、日本による現実認識で、そこには戦争の結果形成された領土的現実も含まれているということに立脚しよう。」

また、ザハロフ報道官は次のように述べた。

「また、このような対話成功の重要な前提は、我われの国との間の2国間関係、信頼強化、双方に有益な協力拡大といった全ての複合体の漸進的発展だ。」

現在に至るまで、平和条約に関する協議は3回開かれた。

先に岸田外相は、日本の当局は平和条約締結に関するロシアとの交渉の進捗についてワシントンに通知すると述べた。

<http://sptnkne.ws/cuB9>

## ロシアへのクリミア半島移動は地震活動活発化する恐れ

(スプートニク 2016年10月05日 19:33)

◎ Sputnik/ Alexander Vilf <https://goo.gl/Y2Mk41>

天文学者はクリミア半島がロシア側に移動していることを記録した。しかし、今後移動し続けた場合地震が活発になる恐れがある。 ◎ Sputnik/ Alexei Kudenko 近いうちにも極東と日本の間を大型旅客機が飛ぶ

ロシア科学アカデミー応用天文学研究所長アレクサンドル・イパトフ氏が科学カンファレンスでクリミア半島のロシア方向への移動が記録されたと述べた。学者らが地殻移動の方向と速度を測定したところ、半島は年2.9ミリの速度で北東に移動していることがわかった。

年2.9ミリという速度は、年1～6センチ移動するリソフフェア、つまりプレートの規格から言えば速くない。一方半島は本土の近くに位置しており、移動が続いた場合は地震の恐れの可能性はある。

また、地質学者と地球物理学者には、クリミアはチュクチのように新生代時代すでに移動に入ったことが昔から知られている。

先に伝えられたところによると、クリミアの観光客数は9月初旬の段階ですでに400万人を突破

した。

<http://sptnkne.ws/cuEp>

## **ブルームバーグ：OPEC諸国の原油生産は記録的指標に上昇**

(スプートニク 2016年10月05日 19:39)

© AFP 2016/ Yasser Al-Zayyat <https://goo.gl/20vIkC>

OPEC諸国は9月、記録的な量の原油を生産した。ブルームバーグが報じた。OPEC諸国の9月の合計原油生産は8月比で1日17万バレル増え、1日3,375万バレルとなった。原油生産増加はナイジェリアとリビアが原油生産を共同で1日19万バレル増やし、それぞれ1日34万バレルと150万バレルの生産となったために起こったという。これら諸国の生産増加は減産したサウジアラビア(6万バレル)とアンゴラ(4万バレル)を埋め合わせた。イランは9月、1日1万バレルの増産、1日363万バレルの生産にとどまったと強調されている。

<http://sptnkne.ws/cuEu>

## **プーチン大統領、ロシアの力とは何かを語る**

(スプートニク 2016年10月05日 21:37)

© Sputnik/ Alexei Druzhinin <https://goo.gl/8nqVII>

プーチン大統領は選挙後初めて開かれた下院議会で演説し、ロシアの力について、これは豊かな天然資源や国防能力だけにとどまらず、国民が一致団結した中にもあると語った。

「この『力』という概念に我々は決して大国的な意味を含めはしない。我々は誰かに何かを押し付けたことは一度もなく、これからもそうしたことはしない。ロシアの力とは私たち自身の中にある。これは我々国民の中に、我々の人間の中に、我々の伝統、文化、経済、広大な領土、そしてもちろん天然資源、国防能力のなかにあるのだ。だが一番大事なものは我々の力は間違いなく国民が一丸となったところにある。」

プーチン大統領はロシアの力を構成するすべての要素を忘れないよう呼びかけ、これこそ国の独立性を保つ上での主要な条件となると語った。先に、プーチン大統領は「カラシニコフ」社の社員との会合で人生で最も重要な原則のひとつを語った。

<http://sptnkne.ws/cuP9>

## 米国のプルトニウム処理に関する合意未遂は欧州への打撃

(スプートニク 2016年10月06日 00:05 タチヤナ・フロニ)

© AP Photo/ Carolyn Kaster <https://goo.gl/RaKTxM>

ロシアは、兵器級余剰プルトニウムの処理に関する米国との合意を一時停止した。この決定は、米国が自ら負った義務遂行を保証できないことから下された。

ロシアにより提起されたプルトニウム処理についての合意案の討議を、上院・連邦会議は、10月12日にも行う可能性がある。国際問題委員会のメンバーの一人、イーゴリ・モロゾフ上院議員は「決定が迅速に下されたのは、この問題がつい昨日議題に上がったばかりのものではなく、もう大分以前から討議されているものだからだ」と指摘した。ロ米間の合意は、2018年から双方が、プルトニウムを原子炉の中で「焼却する」ことにより核兵器製造に適さない状態にして移動を開始することを規定している。

ロ米双方は、兵器級プルトニウム34トンの処分を計画していた。しかし、ロシアが合意遂行のため必要なインフラストラクチャーを作ったのに対し、米国がそれをしなかったことが、合意の一時停止を呼び起こすことになった。ロシアは合意に従い、兵器級プルトニウムを実際に処理したが、米国はプルトニウムを所蔵しただけだった。つまり、米政府は、自国のプルトニウムを「焼却」せず、他の材料でそれを薄め、放射性廃棄物貯蔵所に置くことを計画している。そうすることで、米国がプルトニウムを兵器級に戻す潜在的可能性を保つならば、つまりプルトニウムを回収し加工して、再び核兵器製造に適した材料に替えることが可能となる場合、核のアンバランスが生じてしまう。

しかし、ロシアが合意の一時停止、を決めた理由は、それだけではない。ロシア議会下院・国家会議国防委員会のセルゲイ・ジガリョフ第一副委員長は、スプートニク記者のインタビューに対し「このプロセスの端緒となったのは、米国のミサイル防衛システム（MD）関連施設の欧州への配備だ、関連施設の建設は現在行われており、稼働に入り戦闘態勢に着こうとしている。ロシアは、こうした行為を明らかに非友好的なものとして受け止めている」と述べ、次のように続けた—

「ロシアの行動は、普通の論理により示唆される。なぜなら、どのような国防戦術も、戦術的及び戦略的攻撃力と分かちがたく結びついているからだ。米国は、ミサイル防衛（MD）プログラムを、ブッシュ時代にすでに現実のものとし始めた。当時ロシアはすでに、もし米国が欧州でMDシステムを発展させるならば、我が国はそれに対抗して、米国のミサイル防衛システム（MD）を克服できるような手段を作り出さざるを得なくなるだろうと率直に警告していた。しかるべく自らの核の盾を拡大するという事だ。これは、ロシアの国境と世界におけるロシアの国益を擁護するために全く理に適った措置である。もちろん、これはシリアでの出来事と何の関係もない。最近数年間、合意実施に関する合同査察が、明らかに空転するようになった。それゆえ、戦略的計画の中心部である米国の核施設にロシアの専門家がないという事も、言うまでもなく、この決定の採択に影響を与えた。」

それにもかかわらずロシア政府は、プルトニウムに関する合意遂行再開の可能性を除外していない。しかしそれは、NATO諸国における米国の限定兵力及び軍事インフラの縮小があって初めてありうることだ。対ミサイル防衛に関する合意離脱のイニシアチブを取ったのはロシアではない。米国側だ。

ジガリョフ下院議員は「そのことが、ロシアの戦略攻撃力開発のための原動力になったのだ」と指摘し、さらに次のように述べた—

「米国は、欧州にMDシステム関連施設を配備しただけではなく、同時に超音速ミサイルも発達させている。その際米国は、そうしたミサイルを当然、戦闘態勢に置く用意がある。米国のプランでは、その時期は2025年とされている。米国は極めて積極的に、高精度の代替兵器を発達させているが、それらは防衛兵器ではなく攻撃用のものである。それ故ロシアも、同様の措置を講じ行動せざるを得ない。しかしプーチン大統領が一度ならず指摘したように、コストといくつかの新しい技術的観点から見て、常にロシア側の対抗策の方が、はるかに安くつく。」

当然ながら、こうした状況は、少なからず危険になりつつある。例えば、欧州でミサイル防衛システム関連施設配備というプランを実現しながら、米国は、ただ一つの目的を達成しようとしている。つまり欧州の人達を、欧州大陸の軍事化という米国のプランの人質にしようとしているのだ。この様に指摘したジガリョフ下院議員は、また次のように述べた—

「自国領内に米国のMD関連施設を置くことに同意したポーランドやルーマニアといった国々は、グローバルな紛争が起きた場合、文字通り自主的に自らを直接先制攻撃のもとに置く。ここで、かつてまだソ連邦が存在していたころ、当時の西ドイツ内でストライキや衝突が起きた事を思い出すのは意味がある。人々は、ドイツの地に軍事基地を作り、そこに核兵器を配備しようとする米国の試みに、そうした形で抵抗した。人々は街頭に出て、政府に対し率直に『政府は自分達の生活を犠牲にして、核の傘を作ろうとしている』と抗議した。残念ながら、ポーランドの人々は、今の状況をあべこべに受け止め、もろ手を挙げて受け入れている。ポーランドでは、全く別の意見が支配している。我々の元に、米国人がやって来る、彼らは自分達を守ってくれるだろうというのである。しかし米国人は、ポーランド人を守るためではなく、欧州の人々を自分達の下に置くためだけにやって来るのだ。」

ロシアは、プルトニウム処理に関する合意を一時停止することで、世界の世論の注意を、核兵器製造用プルトニウム処分に関し米国人が自ら負った義務を遂行しないことに向けている。この事は、悲しむべき事実だ。なお一部の専門家達は、米国が義務を遂行しない理由は、プルトニウムを再利用し核潜在力を維持したいという望みばかりでなく、米国の核開発部門が、ロシアに比べ技術的に遅れているからだと見る向きもある。

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部との立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/cvb7>

## ロシア、原子力分野の米国との協力合意を停止

(スプートニク 2016年10月06日 02:02)

© Fotolia/ KLimAx Foto <https://goo.gl/D2Bbmi>

ロシアは米国との原子力、エネルギー分野における学術研究と開発協力の政府間合意を停止する。この法令は4日からロシア政府内閣のサイトで公開されている。

政府法令の公式文書には次のように指摘されている。

「ロシアに対し導入された制裁に関し米国によって取られた行動は、合意によって想定されていた協力の方向性に直接触れた。」

これに関し文書には、今回調印された法令により、2013年9月16日ウィーンで調印された原子力、エネルギー分野での学術研究と開発についての米国との協力活動を停止する決定が取られたと書かれている。

文書には次のように書かれている。

「米国との協力の国際的法的基盤はこのようなアプローチのもとで維持される。ロシアには、合意が米国との関係の全体的文脈の観点から正当化されるとき、合意に基づき協力を再開する可能性が残される。」

<http://sptnkne.ws/cuUg>

## 第2のスノーデン？ NSA職員が外国勢力システムハッキング用コードを盗んだ容疑で逮捕

(スプートニク 2016年10月06日 02:09)

© AP Photo/ <https://goo.gl/mPPtvF>

FBIはNSA＝アメリカ国家安全保障局のある契約職員を、外国勢力のネットシステムハッキング用の機密コンピューターコードを盗んだ疑いで逮捕した。ニューヨークタイムズが報じた。逮捕はこの数週間で起きた。今回の容疑者はエドワード・スノーデン氏同様、ブーズ・アレン・ハミルトン社のコンサルタントを勤めていたという。盗まれたプログラムコードはロシア、中国、イラン、北朝鮮という米国の主な外交対戦相手のコンピューターシステムに侵入するためNSAによって開発された。

<http://sptnkne.ws/cuUu>

## プーチン大統領：「日出ずる国」は日本ではなくロシア

(スプートニク 2016年10月06日 06:05)

© Sputnik/ Sergei Guneev <https://goo.gl/d0BvfD>

ロシアのプーチン大統領は、同国最北端のチュクチ自治管区の状態を把握しており、同地区を訪問すると約束した。

プーチン大統領は2016年の全ロシアコンクール「ロシアの今年の教師」の入賞者たちと面会した。入賞者の中には、チュクチ自治管区の出身者もいた。プーチン大統領は、「チュクチ自治管区の住民たちの生活についての質問には、それは蘇りつつあると言う事ができる。全ての人が日本を日出ずる国と呼んでいるが、これは世論の嘘だ」と述べ、実際のところ日出ずる国はロシアだと冗談を言った。

プーチン大統領は、「ユーラシア最東端はチュクチだ。そこは素晴らしい島だ。そしてチュクチの島を経由してアラスカの開発が行なわれた」と述べた。

プーチン大統領は、チュクチは鉱業と関連したものなど有望な活動の方向性を持った地域だと指摘し、「チュクチで起こっていることは全て知っている。必ず訪れる」と述べた。

<http://sptnkne.ws/cvbW>

## ロシア文化センター神戸の誕生秘話：子どもの交流、ますます盛んに

(スプートニク 2016年10月06日 07:46 徳山あすか)

◎ 写真: Russian Culture Center Kobe <https://goo.gl/Hp3dE0>

西欧文化に縁の深い街・神戸にまたひとつ新しいカルチャーの発信基地ができた。ロシア文化センター神戸である。同センターは9月16日に発足セレモニーを行い、現在は神戸市中心部のJR三ノ宮駅近くに常設センターを開所すべく、準備が着々と進められている。常設センターは来月を目処にオープンする予定だ。

ロシア文化センター神戸の所長に就任したアンナ・ヴォロジツォワさんは、日本人男性と結婚したことがきっかけで神戸に引っ越してきた。神戸には、ロシア人の子どもたちや日露ハーフの子どもたちのためのロシア語学校「ミーシカ」（小ぐまの愛称形）があり、毎週土曜日に授業を行っている。娘にロシア語を学ばせたいと考えたヴォロジツォワさんは、ミーシカ校長の柿沼エレナさんと出会い、そこでロシア文化センター神戸を設立しようというアイデアが生まれた。というのは、ミーシカでは生徒の親の中で、ダンス、バレエ、絵画、執筆、音楽、歌など、創造的かつ芸術性のある仕事をする人たちがとても多いことがわかったためだ。ロシア人にとって人生における文化芸術活動は大きな意義がある。ヴォロジツォワさん自身も、ミーシカでは工芸の授業を受けもち、手

芸やロシア民芸品作りなどを教えている。

ロシア文化センター神戸は、ロシアの芸術や文化を発信し、日本人との交流を深めていくことはもちろん、ロシア語話者にとっての情報センターとしての機能も備える予定だ。来日したばかりの留学生の生活のサポート、病院や銀行での手続き、日本人との結婚、子どもの教育のことなどを相談したり、情報を得ることができるようになる。ロシア語書籍を集めた図書館、また、国籍に関わらず柔道や空手を学べる子ども武道アカデミーも併設する予定だ。ロシアにルーツをもつ子どもたちと、日本人の子どもたちがスポーツを通して交流できるようになる。

ヴォロジツォワさん：「ロシアと長い関わりをもつ神戸の地で、ロシア人だけでなく、ウクライナ人やベラルーシ人などロシア語を話す全ての人と仲良くなり協力して、彼らが便利に生活していけるように助けたいと思います。また、日露ハーフの子どもたちは、文化の違いから、学校などで理解してもらえないことや、友達同士で理解不足になったりすることもあります。私たちのセンターの活動を通して国と国、人と人、子どもと子どもの交流が進むことを願っています。武道アカデミーでは子どもたちに武道そのものだけでなく、礼儀正しさも学んでほしいと思っています。」

ロシア文化センター神戸の活動は、非常にアクティブだ。神戸市内の様々な国際交流イベントはもちろん、関西圏に住むロシア人と連携し、来年2月25日、マースレニツァ（春を迎えて冬を送る祭り）の時期に京都で行われるロシアフェスティバルや、大阪で3月に行われる復活祭イベントにも参加協力することが決まっている。また、2017年の神戸港開港150周年の際には、ビッグイベントを計画している。

2014年度のデータによれば、兵庫県には246人のロシア人が住んでいる。もちろん東京や大阪といった大都市に比べれば少ない数字ではあるが、ロシア人ディアスポラは特に神戸において、歴史にその存在を刻んできた。

1858年に日露修好通商条約が結ばれ、兵庫港（現在の神戸港）が1868年1月1日に開港。その後、皇太子ニコライ（後のニコライ二世、ロシア帝国最後の皇帝）が来日する直前の1891年に、ロシア帝国領事館が建設された。1917年のロシア革命においては多数の亡命者が発生し、神戸は窓口となった。1927年には、亡命したロシア人たちは神戸で亡命者の会を設立し、互いの生活を助けたり、文化イベントを行ったりした。亡命者の中には、神戸市民にとっておなじみのモロゾフやゴンチャロフといった洋菓子メーカー創設者もあり、特にモロゾフ氏は現在も残る神戸ハリストス協会の建設に大いに尽力した。

近日中に神戸でロシアを感じられるイベントとしては、今回で第二回目となる「神戸ロシアフェスティバル」（フェスティバル主催者代表：ナタリヤ・ボゴウディナさん）がある。10月23日（日）神戸ハーバランド・モザイク東側の高浜岸壁にて、11時からスタート。コンサートやバザー、出店やワークショップが楽しめる。

<http://sptnkne.ws/cvca>

## 15の日本企業のビジネスマンがロシア最西の町を訪問

(スプートニク 2016年10月06日 08:43 短縮 URL 011820)

© Sputnik/ Igor Chuprin <https://goo.gl/TGCBvG>

日本大手の15社からの代表がカーニングラード州を訪れ、実地でイノベーションのポテンシャルを評価した。代表団には日本経団連の指導部、航空会社JAL、ヤマハ、三菱電機ロシア現地法人などのビジネスマンが入っている。地域当局は日本のビジネスマンのために、多様な生産拠点訪問の広汎なプログラムを用意し、協力発展を促進する準備ができています。

先に伝えられたところによると、日本とロシア両政府は、経済的協同行動拡大の枠内で、宇宙テクノロジー及び宇宙開発分野での協力を強化する諸問題の話し合いを開始した。

<http://sptnkne.ws/cvcc>

## 日本銀行 経済成長のためのツールを「組み立てなおす」

(スプートニク 2016年10月06日 09:29 リュドミラ・サーキャン)

© AP Photo/ Shizuo Kambayashi, File <https://goo.gl/ZGBKQH>

安倍首相の経済ブレーンとして知られる元日銀審議委員の中原伸之氏は、マネーの量から金利に操作目標を変更した日本銀行の新たな金融政策を誤りだと指摘した。つまり、日本銀行が行っている金融政策の方向性に変更を加えるべきだと訴えている。

日銀指導部は、自分達の政策を広範に判断し、主な目的指標の一つとして、マネタリーベースの道標を放棄する決定を下した。その代わり銀行は、現在のゼロレベルで収益性を維持しながら、10年ものの国債を購入する意向だ。その際、短期金利が調整され、預金金利のほうは年率マイナス0.1%にとどまる。日銀は、量的緩和はすでにそれほど重要なツールではないとみなし、自分達の政策の新たな骨組みは「イールドカーブ・コントロール（長短金利操作）」であるとした。日銀の黒田総裁は、こうした決定をコメントし「日本国債の購入量について言えば、債券購入プログラムの目標量に関して、年80兆円レベルで増やしたり減らしたりすることができる」と述べた。

2013年初めに黒田氏が日銀総裁に任命されたあと始められた刺激策は、「アベノミクス」の最も注目すべき側面だった。よく知られているように安倍首相が掲げた「三本の矢」は、積極的な金融政策、財政刺激策と構造改革を内を含むものだった。そして現在、批判の矢は、黒田総裁のもとに飛んで行っている。中原氏の意見によれば、日銀の新しい決定は「アベノミクス」支援策の終わりを意味している。

中原氏は次のように述べた—「彼らは、政策の焦点を量的緩和から金利に変更した。これは、量的緩和を支持した人々の敗北を意味する。経済支援を支持していた日銀審議委員の人達は負けたの

だ。日銀内でリフレ派が敗れたということだ。デフレからの脱却の可能性は、ひどく遠のいてしまった」。

実際、日銀審議委員のすべてのメンバーが皆、新しい決定を指示したわけではない。大部分のメンバーは、今日銀は、経済的諸条件に従って、もっと柔軟にその政策を変えることができるだろうとみなしていた。新しいインストルメントの導入は、金融市場の機能を著しく弱めると考えている人達もいる。一方黒田総裁自身は、インフレ・ターゲット達成のために、以前予想されていたより多くの時間が必要であることを認めながらも、今後も金融刺激策の潜在的可能性は維持されていると確信している。

国際通貨基金（IMF）は、日本銀行の金融政策が新しい原則に移ったことを歓迎した。しかしIMFも、日本銀行が近く、2%というインフレの目標指数を達成できるとは思っていない。多くの経済学者もそう考えている。

スプートニク記者は、金融アナリスト機関「アルイパリ」のアンナ・ボドロワさんに意見を聞いてみた—

「どのようにするのが正しいのかなど、誰にも分らない。量的緩和プログラムに取り掛かった時、日銀は、すべて間違っただけをしている、プログラムは始動していないと責められた。しかし結局、それは動き出し、日本のインフレは肯定的な数値に上がった。消費者物価指数加速のプロセスは困難だったが、それも進んでいる。当時、日銀はインフレ活性化プログラムにすべての力を投入した。現在このプログラムが作り直されていることは、正常なことである。試す必要がある。何にでも万能な方法などないのだ。日本経済は大きなポテンシャルを持っており、長期にわたる停滞から経済を抜け出させ、その潜在力を起動させる必要がある。ここ数年、日銀は、そのためのメカニズムを探り出そうと努めてきた。もし結果が出なければ、そうした措置は縮小され、再び保守的なメカニズムが用いられるだろう。しかし新機軸がうまく行き、動き出すこともあり得る。そんなことがないなどと、なぜ言えるだろうか？」

日銀の決定に対する中原氏の批判は、何もこれが初めてではない。今年1月に、日銀が民間銀行に対しマイナス金利を導入した時も、中原氏は、これを真珠湾攻撃に例えて批判している。

※なお記事の中で述べられている見解は、必ずしも編集部との立場とは一致していません。

<http://sptnkne.ws/cvcg>